

# 第10回住吉中学校ブロック小中連携校開校準備委員会

開催日時 平成26年3月19日(水) 19:00

会 場 福岡市立住吉中学校 図書室

## 次 第

1 開会

2 議事

(1) 学校教育部会の報告

(2) 交通安全部会の報告

(3) 施設部会の報告

3 事務連絡

4 閉会

## 住吉中学校ブロック小中連携校 学校教育部会報告

## 1. 開催日時・会場

〔第4回〕	平成25年8月6日（火）	19:00～20:30	住吉小学校	会議室
〔第5回〕	平成25年11月7日（木）	19:00～20:20	住吉小学校	会議室
〔第6回〕	平成26年1月22日（水）	19:00～19:40	住吉小学校	会議室

## 2. 議題〔第4回〕・〔第5回〕・〔第6回〕

- (1) 住吉小中学校独自の特色ある教育の推進
- (2) 新設校における制服（独自のデザインの標準服）導入の検討について

## 3. 協議結果

## (1) 住吉小中学校独自の特色ある教育の推進

○住吉小学校・住吉中学校で、小中連携した教育構想や連携校の時制のあり方などを検討する「住吉サミット」を設置し、その具体的検討体制として小中学校の教員で「連携推進委員会」を組織し、小中学校が連携した独自の教育指導計画や学校運営などについて検討を進めており、住吉サミットの検討状況について報告があった。

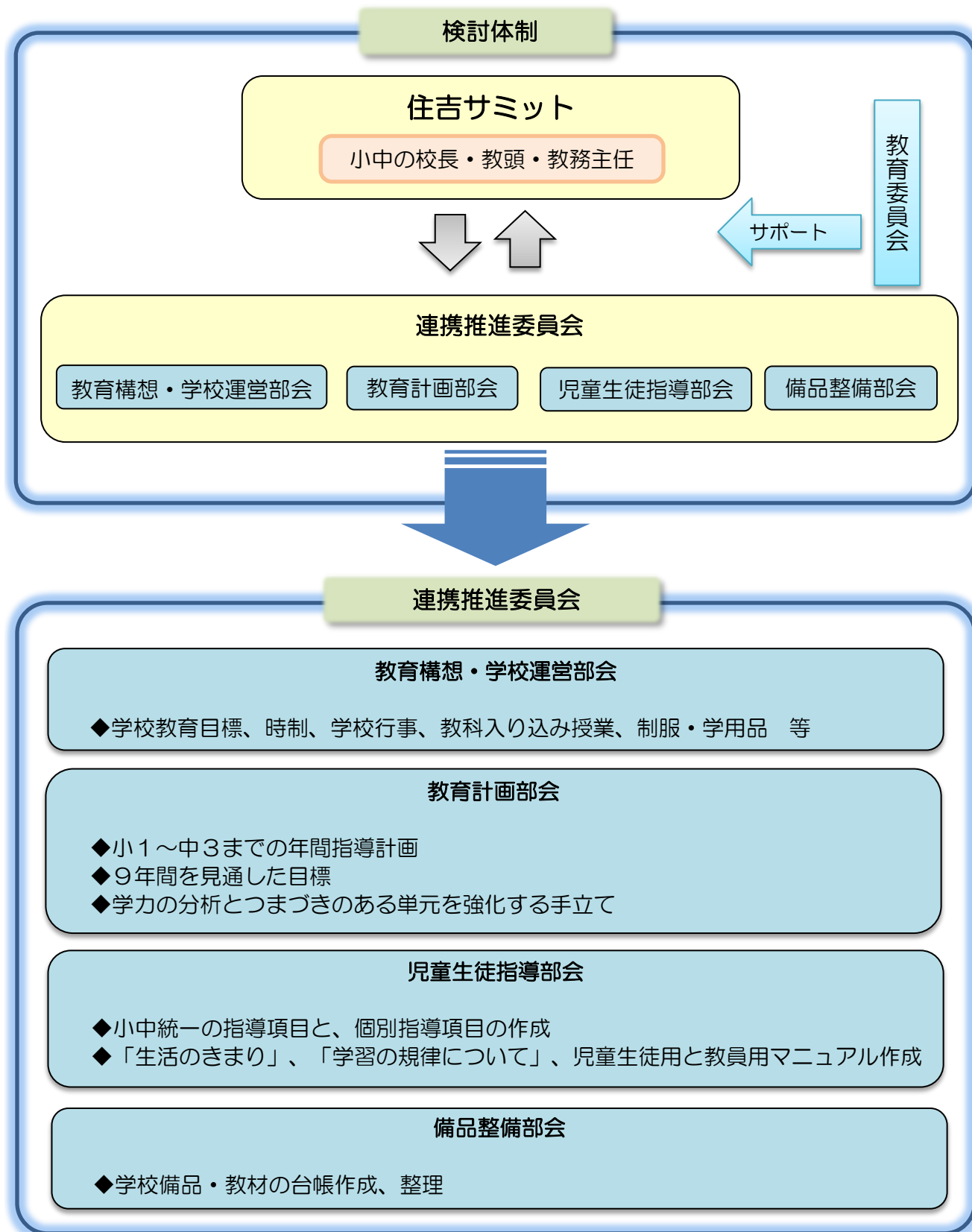
- ・検討体制 : 2ページ参照
- ・教育構想（案） : 3ページ参照
- ・時制のあり方 : 4・5ページ参照

○平成26年度は、教育構想についてさらに検討を加え、これをもとにした教育指導計画、学校行事のあり方などを検討していくとともに、時制の試行を行い、施設一体型のメリットを生かした効果的な小中連携教育が展開できるよう検討を重ねていく。

# (1) 住吉小中学校独自の特色ある教育の推進

## ○検討体制について

平成27年春の小中連携校の開校に向け、住吉小中学校が連携した独自の教育指導計画や学校運営などの検討を行っている。検討にあたっては小中学校が連携した検討体制として、小中教員による「連携推進委員会」を設置し、その中に検討内容に応じた4つの部会を設け検討を行っている。この「連携推進委員会」を統括するものとして、小中の校長・教頭・教務主任による「住吉サミット」を設置している。



校訓

「 礼節 英知 剛健 」

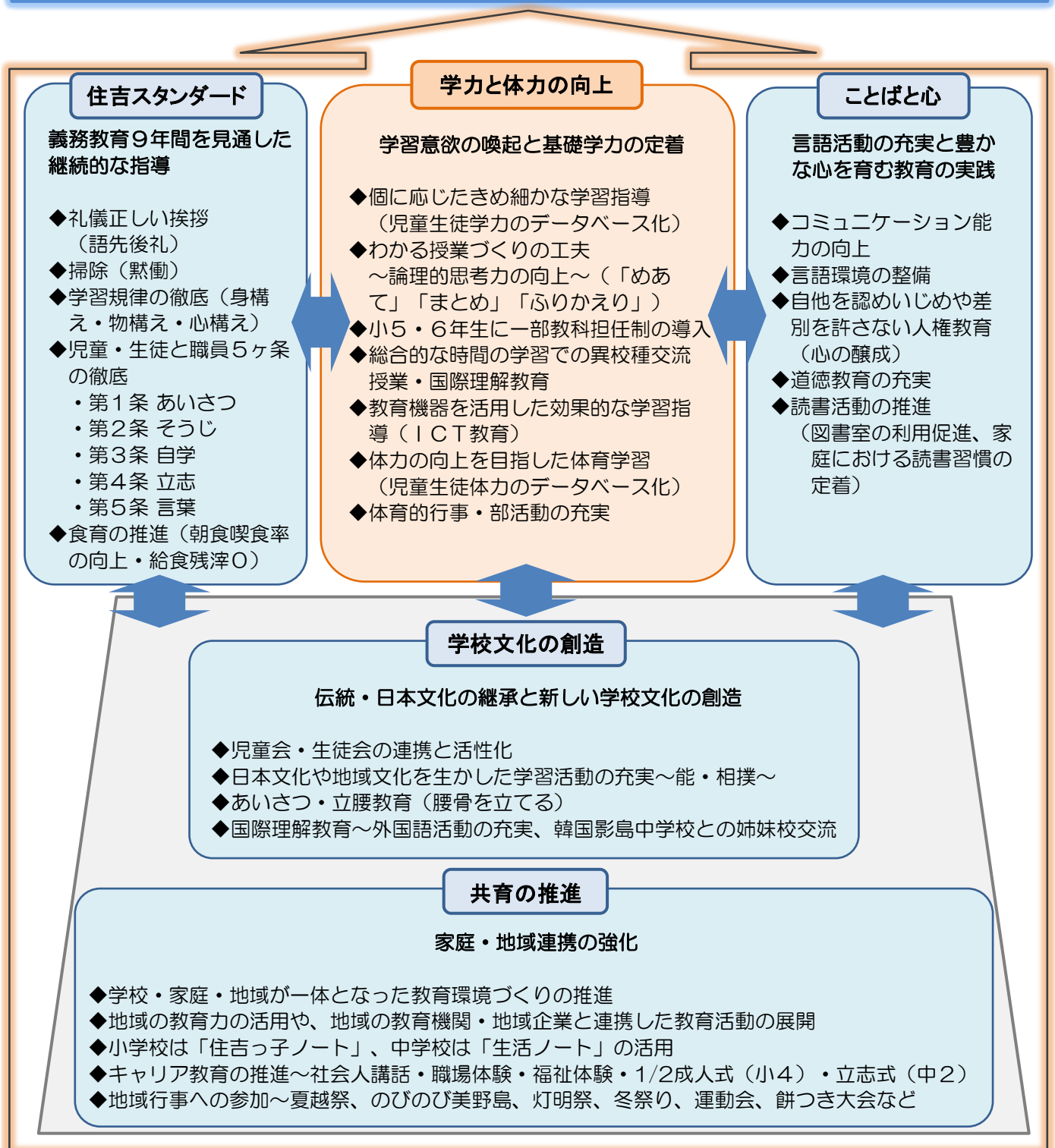
～ すすんで学び、みんな仲良く、よく鍛え、しっかり働く住吉っ子 ～

教育  
目標

ことばと伝統を大切にしたい学校文化を創造し、知・徳・体の調和がとれ、  
地域社会に役立つ人間力を高めようとする子どもの育成

目指す  
子ども像

『 礼儀正しく よく学び 社会に役立つたくましい児童・生徒 』



## ○時制のあり方の検討

小中連携校の開校に向け「住吉サミット」において、小学校45分授業、中学校50分授業と小中間で授業時間に差がある中で、施設一体型のメリットを生かした指導が行えるよう時制のあり方の検討を行っている。

平成26年度には、検討した時制を小・中学校でそれぞれ試行し、効果的な小中連携教育が展開できるよう検討を重ねていく。

### 検討にあたってのポイント

- ① 小学校45分授業、中学校50分授業と小中間で授業時間に差がある中で、施設一体型のメリットである「機動力を生かした中学校教員による小学校への乗り込み授業」を効率的に行うため、2・3・5時限目の授業開始時間をそろえる。
- ② 児童・生徒の登校時間について、小中連携校であることから登校時間をそろえる。
- ③ 学力向上の効果的な取り組みとして、小学校の朝学習を継続して実施するとともに、小学校での基礎学力の着実な定着を図るため、時間を5分拡大し、20分確保。
- ④ 児童・生徒の日常的な交流を促進するため、昼休みと清掃の時間をそろえる。

### 今後の検討課題

- 小学校・中学校の時制の差に伴う、授業時間と休み時間が併存する時間帯における指導方法
- 小・中の給食開始時間が異なる中で、ランチルームを活用した児童・生徒間交流の運用方法
- チャイムの運用 ※例：小・中の時制がそろう時間（昼休みなど）のみ鳴らす  
：ノーチャイムでの運用 など

○時制 (案)

現在の時制	
小	中
8 10 児童登校8:20	生徒登校: 8:25
20 クリーンタイム	職朝
30 朝の会	朝の会
40 全校朝会・朝学習	10
9 10 1 20 8:55~9:40	1 8:50~9:40
40 5	10
10 10 2 20 9:45~10:30	2 9:50~10:40
40 中休み15	10
50 移動 5	
11 10 3 20 10:50~11:35	3 10:50~11:40
40 5	10
12 10 4 20 11:40~12:25	4 11:50~12:40
30 給食 (45分) 40 12:25~13:10	給食 (30分) 12:40~13:10
13 10 昼休み (45分) 20 13:10~13:55	昼休み (45分) 13:10~13:55
14 10 清掃(15分)	5
20 5	13:55~14:45
30 5 40 14:15~15:00	10
50 5	
15 10 6 20 15:10~15:50	6 14:55~15:45
40 5	
50 帰りの会(15分)	清掃(15分)
16 10 5	5
20 帰りの会(10分)	
30	
40	

連携校の時制(案)	
小	中
8 10 児童登校8:25	生徒登校: 8:25
20 職朝	職朝
30 クリーンタイム	クリーンタイム
40 朝の会	朝の会
50 全校朝会・朝学習	10
9 10 1 20 9:00~9:45	1 8:50~9:40
40 5	10
10 10 2 20 9:50~10:35	2 9:50~10:40
40 中休み15	10
50 5	
11 10 3 20 10:50~11:35	3 10:50~11:40
40 5	10
12 10 4 20 11:40~12:25	4 11:50~12:40
30 給食 (45分) 40 12:25~13:10	給食 (30分) 12:40~13:10
13 10 昼休み (45分) 20 13:10~13:55	昼休み (45分) 13:10~13:55
14 10 清掃(15分)	清掃(15分)
20 5	5
30 5 40 14:15~15:00	5 14:15~15:05
50 5	10
15 10 6 20 15:05~15:50	6 15:15~16:05
40 5	
50 帰りの会(15分)	5
16 10 帰りの会(10分)	5
20	
30	
40	

## (2) 新設校における制服（独自の標準服）導入の検討について

- 独自のデザインの服装を導入するメリットとして、学校の一員としての自覚が強まることで学校に対する「誇り」「愛着」が醸成されることや、その学校の児童生徒と明確にわかるため、周囲からの関心を意識することによる規律意識の高まりなどの効果が他都市の導入事例で報告されており、小中連携校の開校を機に独自のデザインの服装を導入することについて検討を行った。
  - 導入の検討にあたっては、保護者、児童生徒、教職員に対するアンケート調査を行い、その結果を踏まえ、導入による教育効果や費用負担の面などメリット・デメリットを検討し、経過措置を設けるなど弾力的な運用の導入についても協議を行った結果、新設校における独自の服装の導入については、下記とすることで意見を集約した。
- ※学校教育部会での検討経緯については7ページを参照

### ○中学校の服装について

- ・新設校開校時から、独自のデザインの服装を標準服として導入する。
- ・導入にあたっては経過措置などを適用する。

経過措置：開校時の中学2・3年生は既に現標準服を購入しているため、独自の標準服と購入済みの現標準服の両方の選択を可とする。

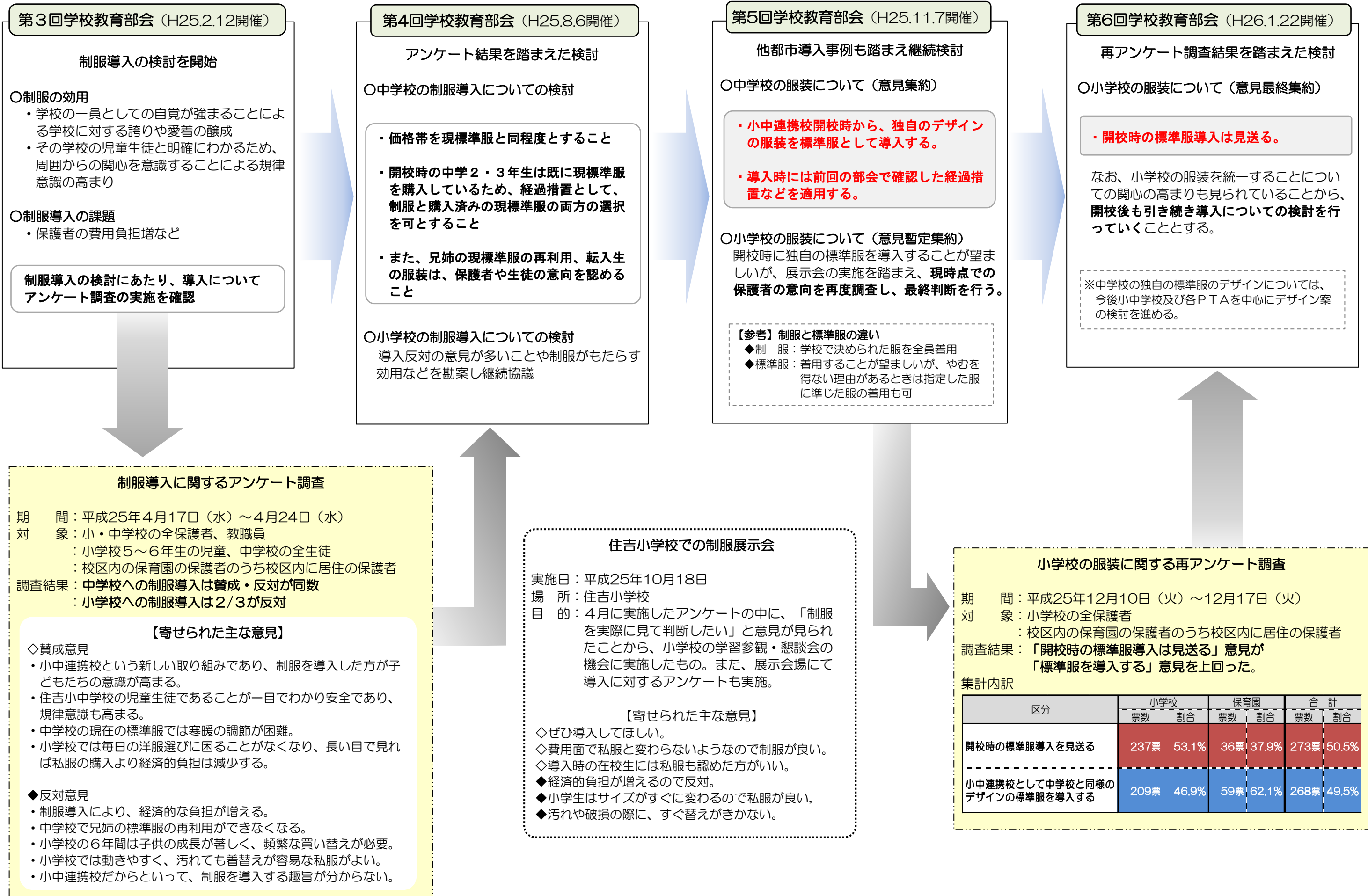
その他：兄弟の現標準服の再利用、転入生の服装については保護者及び生徒の意向を認める。

### ○小学校の服装について

- ・2度にわたってアンケート調査を行った結果、いずれも「開校時の導入は見送る」意見が半数以上を占めるなど、導入に伴う新たな費用負担の面などから反対意見が依然として多いことを踏まえ、**開校時の導入は見送ることで意見を集約する。**
- ・なお、保護者の意向に一定の変化が見られ、小学校の服装を統一することについての関心の高まりも見られていることから、開校後も引き続き導入についての検討を行っていくこととする。



# 学校教育委員会における標準服導入の検討経緯について



**制服導入に関するアンケート調査**

期 間：平成25年4月17日（水）～4月24日（水）  
 対 象：小・中学校の全保護者、教職員  
           ：小学校5～6年生の児童、中学校の全生徒  
           ：校区内の保育園の保護者のうち校区内に居住の保護者

調査結果：中学校への制服導入は賛成・反対が同数  
           ：小学校への制服導入は2/3が反対

**【寄せられた主な意見】**

- ◇賛成意見
  - ・小中連携校という新しい取り組みであり、制服を導入した方が子どもたちの意識が高まる。
  - ・住吉小中学校の児童生徒であることが一目でわかり安全であり、規律意識も高まる。
  - ・中学校の現在の標準服では寒暖の調節が困難。
  - ・小学校では毎日の洋服選びに困ることがなくなり、長い目で見れば私服の購入より経済的負担は減少する。
- ◆反対意見
  - ・制服導入により、経済的な負担が増える。
  - ・中学校で兄弟の標準服の再利用ができなくなる。
  - ・小学校の6年間は子供の成長が著しく、頻繁な買い替えが必要。
  - ・小学校では動きやすく、汚れても着替えが容易な私服がよい。
  - ・小中連携校だからといって、制服を導入する趣旨が分からない。

**住吉小学校での制服展示会**

実施日：平成25年10月18日  
 場 所：住吉小学校  
 目 的：4月に実施したアンケートの中に、「制服を実際に見て判断したい」と意見が見られたことから、小学校の学習参観・懇談会の機会に実施したもの。また、展示会場にて導入に対するアンケートも実施。

**【寄せられた主な意見】**

- ◇ぜひ導入してほしい。
- ◇費用面で私服と変わらないようなので制服が良い。
- ◇導入時の在校生には私服も認めた方がいい。
- ◆経済的負担が増えるので反対。
- ◆小学生はサイズがすぐ変わる所以で私服が良い。
- ◆汚れや破損の際に、すぐ替えがきかない。

**小学校の服装に関する再アンケート調査**

期 間：平成25年12月10日（火）～12月17日（火）  
 対 象：小学校の全保護者  
           ：校区内の保育園の保護者のうち校区内に居住の保護者

調査結果：「開校時の標準服導入は見送る」意見が「標準服を導入する」意見を上回った。

集計内訳

区分	小学校		保育園		合 計	
	票数	割合	票数	割合	票数	割合
開校時の標準服導入を見送る	237票	53.1%	36票	37.9%	273票	50.5%
小中連携校として中学校と同様のデザインの標準服を導入する	209票	46.9%	59票	62.1%	268票	49.5%



# 住吉中学校ブロック学校教育委員会

## 第4回会議資料

日時：平成25年8月6日（火） 19：00

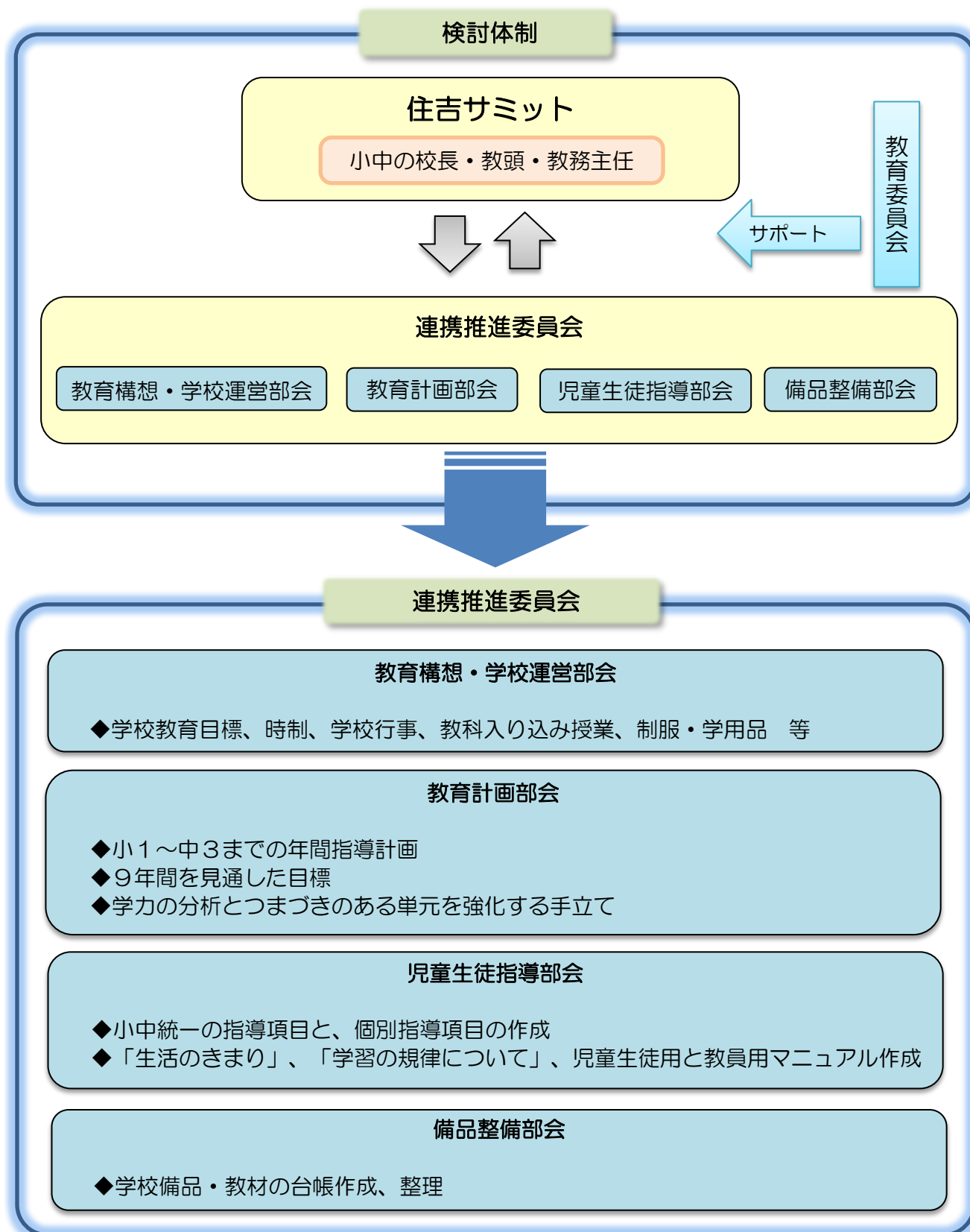
場所：住吉小学校 プレハブ2階会議室

- 1 住吉小中学校独自の特色ある教育の推進
- 2 新設校における制服導入の検討について

## 住吉小中学校独自の特色ある教育の推進

### ○検討体制について

平成27年春の小中連携校の開校に向け、住吉小中学校が連携した独自の教育指導計画や学校運営などの検討を行っている。検討にあたっては小中学校が連携した検討体制として、小中教員による「連携推進委員会」を設置し、その中に検討内容に応じた4つの部会を設け検討を行っている。この「連携推進委員会」を統括するものとして、小中の校長・教頭・教務主任による「住吉サミット」を設置している。



校訓

「 礼節 英知 剛健 」

～ すすんで学び、みんな仲良く、よく鍛え、しっかり働く住吉っ子 ～

教育  
目標

ことばと伝統を大切にしたい学校文化を創造し、知・徳・体の調和がとれ、  
地域社会に役立つ人間力を高めようとする子どもの育成

目指す  
子ども像

『 礼儀正しく よく学び 社会に役立つたくましい児童・生徒 』

住吉スタンダード

義務教育9年間を見通した  
継続的な指導

- ◆礼儀正しい挨拶（語先後礼）
- ◆掃除（黙働）
- ◆学習規律の徹底（身構え・物構え・心構え）
- ◆児童・生徒と職員5ヶ条の徹底
  - ・第1条 あいさつ
  - ・第2条 そうじ
  - ・第3条 自学
  - ・第4条 立志
  - ・第5条 言葉
- ◆食育の推進（朝食喫食率の向上・給食残滓〇）

学力と体力の向上

学習意欲の喚起と基礎学力の定着

- ◆個に応じたきめ細かな学習指導（児童生徒学力のデータベース化）
- ◆わかる授業づくりの工夫～論理的思考力の向上～（「めあて」「まとめ」「ふりかえり」）
- ◆小5・6年生に一部教科担任制の導入
- ◆理数教育の充実
- ◆総合的な時間の学習での異校種交流授業
- ◆教育機器を活用した効果的な学習指導（ICT教育）
- ◆体力の向上を目指した体育学習（児童生徒体力のデータベース化）
- ◆体育的行事・部活動の充実

ことばと心

言語活動の充実と豊かな心を育む教育の実践

- ◆コミュニケーション能力の向上
- ◆言語環境の整備
- ◆自他を認めいじめや差別を許さない人権教育（心の醸成）
- ◆道徳教育の充実
- ◆読書活動の推進（図書室の利用促進、家庭における読書習慣の定着）

学校文化の創造

伝統・日本文化の継承と新しい学校文化の創造

- ◆日本文化や地域文化を生かした学習活動の充実～能・相撲～
- ◆児童会・生徒会の連携と活性化
- ◆立腰教育（腰骨を立てる）
- ◆国際理解教育～外国語活動の充実、韓国影島中学校との姉妹校交流

共育の推進

家庭・地域連携の強化

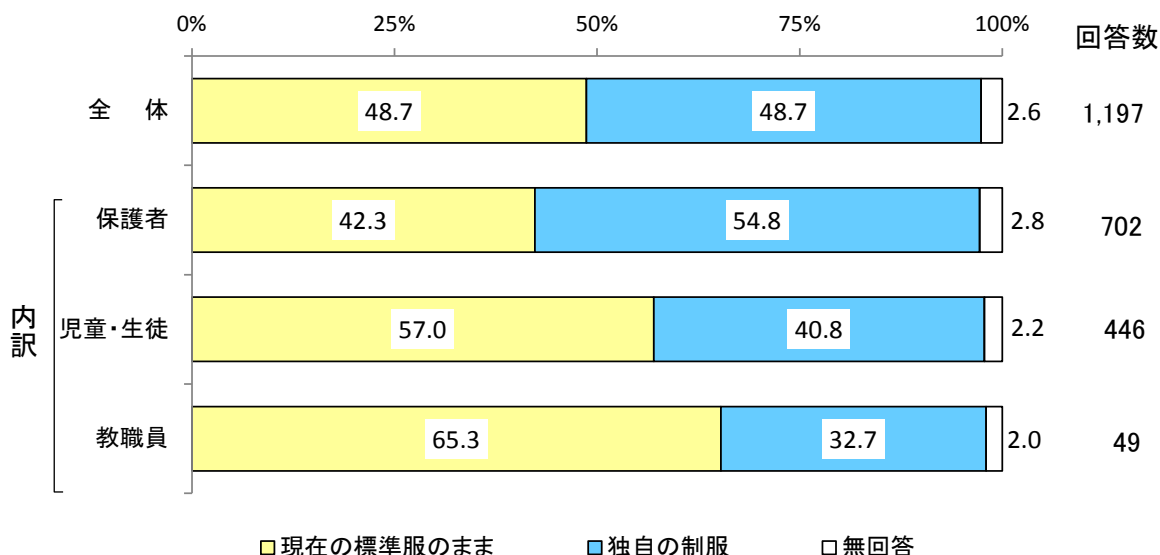
- ◆学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくりの推進
- ◆地域の教育力の活用や、地域の教育機関・地域企業と連携した教育活動の展開
- ◆小学校は「住吉っ子ノート」、中学校は「生活ノート」の活用
- ◆キャリア教育の推進～社会人講話・職場体験・福祉体験
- ◆地域行事への参加～夏越祭、のびのび美野島、灯明祭、冬祭り、運動会、餅つき大会など

# 新設校における制服導入の検討について

## 制服アンケート集計結果

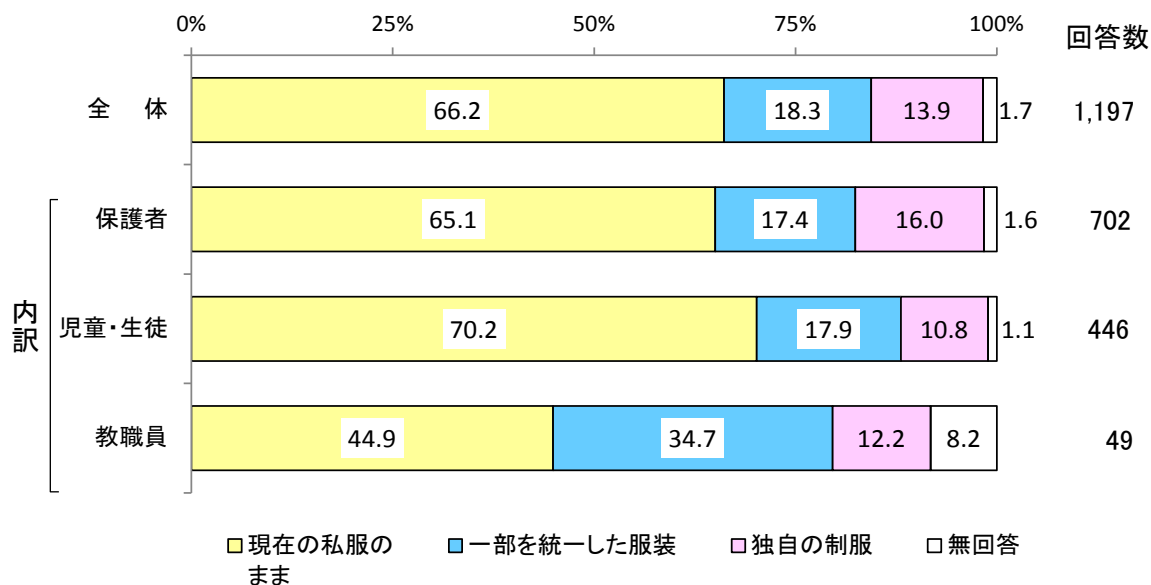
### ◆保護者、生徒・児童、教職員別集計結果

#### 【中学校の制服について】



全体として「現在の標準服のまま」と「独自の制服」を希望する意見が同数となっているが、保護者の半数以上が「独自の制服」を希望し、児童・生徒、教職員は「現在の標準服のまま」を希望する意見の割合が高くなっている。

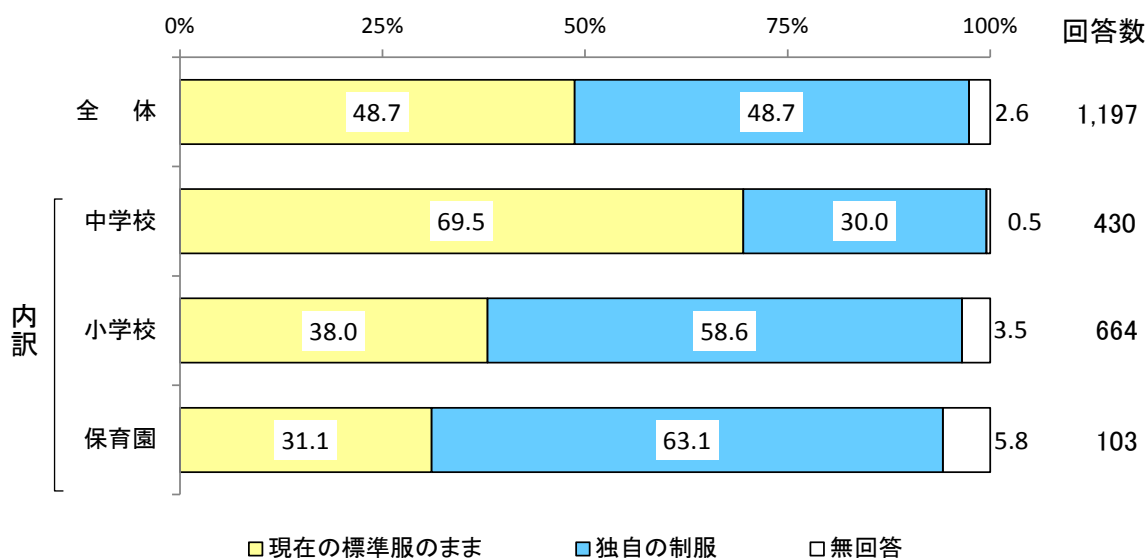
#### 【小学校の制服について】



全体の約3分の2が「現在の私服のまま」を希望しており、内訳をみると、保護者、児童・生徒は「現在の私服のまま」を希望する意見が多く、教職員は「現在の私服のまま」を希望する意見が最も多い一方、「一部を統一した服装」を希望する意見も一定数ある。

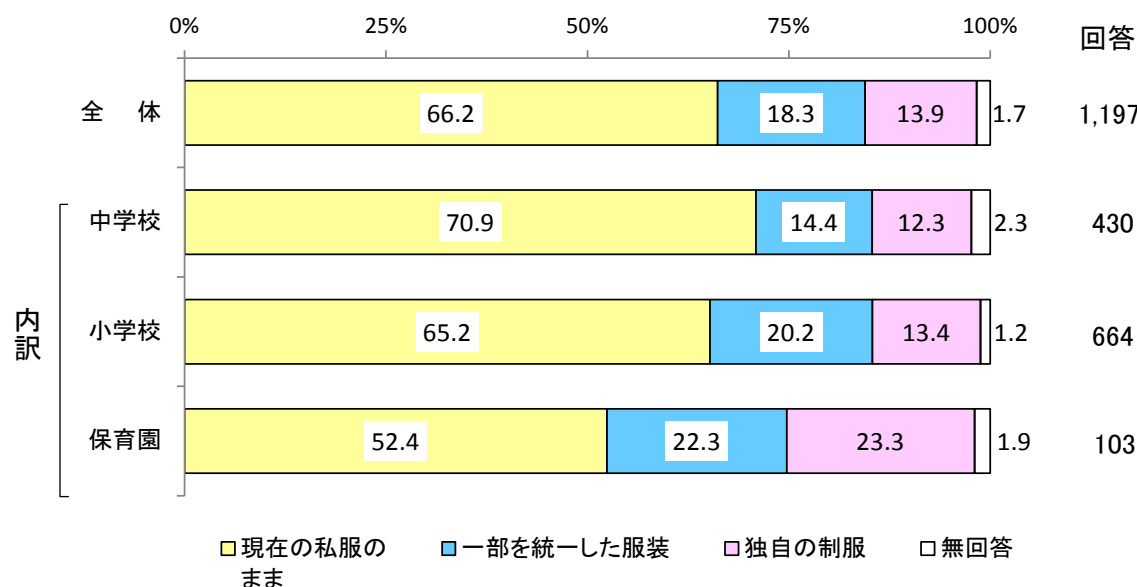
◆中学校、小学校、保育園別集計結果

【中学校の制服について】



全体として「現在の標準服のまま」と「独自の制服」を希望する意見が同数となり、中学校関係者では約7割が「現在の標準服のまま」を希望しているが、小学校関係者・保育園保護者ともに「独自の制服」を希望する意見が多数を占めている。

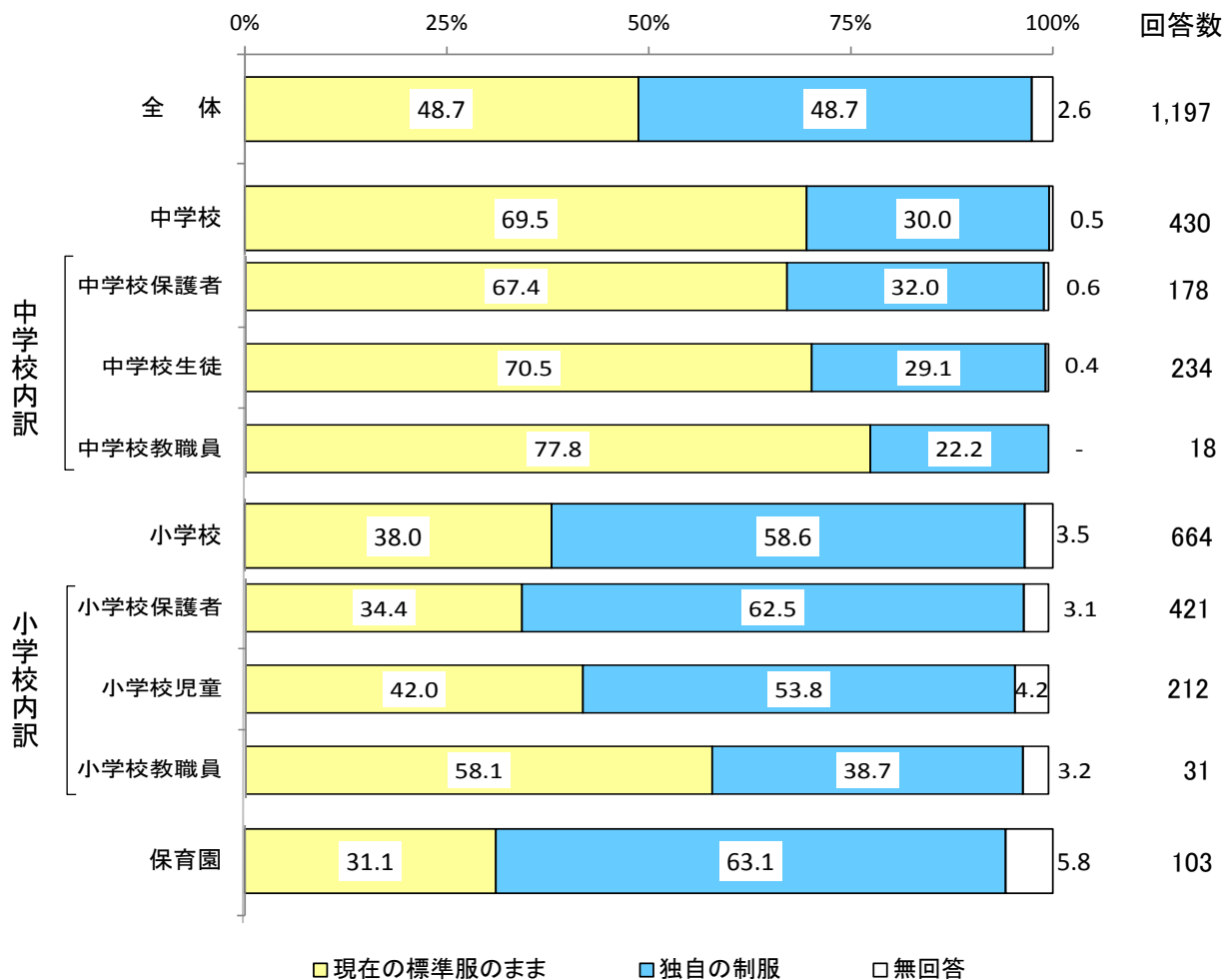
【小学校の制服について】



全体の約3分の2が「現在の私服のまま」を希望しており、内訳をみても、中学校関係者、小学校関係者、保育園保護者ともに「現在の私服のまま」を希望する意見が多い。

◆前ページの中学校、小学校、保育園別集計の詳細な内訳

【中学校の制服について】

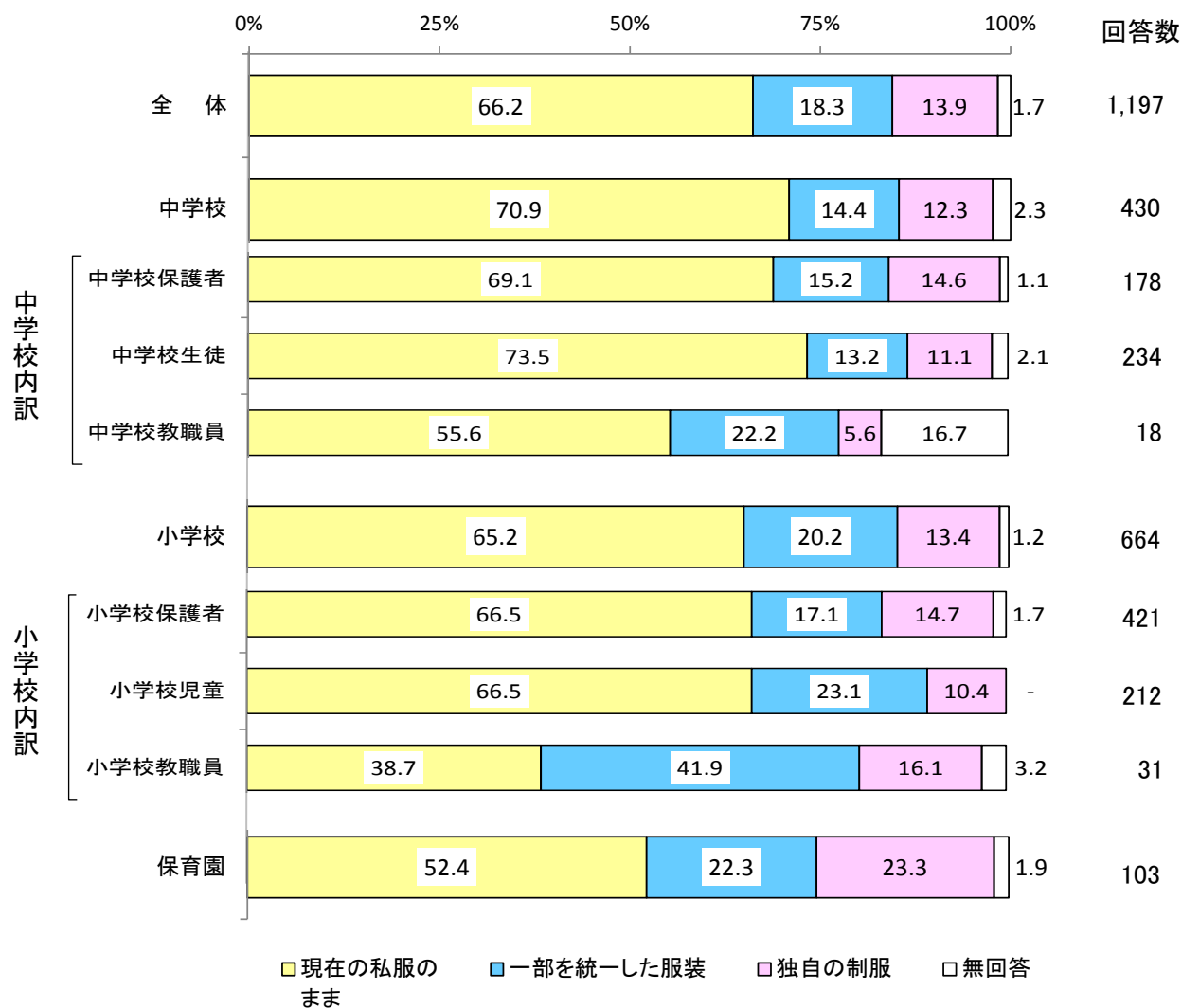


中学校全体としては、約7割が「現在の標準服のまま」を希望しており、内訳をみても、中学校関係者においては、保護者、生徒、教職員ともに「現在の標準服のまま」を希望する意見が多数を占めている。

一方、小学校全体としては約6割が「独自の制服」を希望しているが、小学校関係者においては、保護者、児童で「独自の制服」を希望し、教職員は「現在の標準服のまま」を希望する意見が多数を占めている。

また、保育園保護者については6割以上が「独自の制服」を希望している。

## 【小学校の制服について】



中学校全体としては、7割以上が「現在の私服のまま」を希望しており、内訳をみても、保護者、生徒、教職員ともに「現在の私服のまま」を希望する意見が多数を占めている。

また、小学校全体としても6割以上が「現在の私服のまま」を希望しており、内訳については、保護者・児童で「現在の私服のまま」を希望する意見が多い一方で、教職員においては「一部を統一した服装」を希望する意見が多く、小学校全体でも2割程度みられる。

保育園保護者についても半数以上が「現在の私服のまま」を希望している。



中学校の制服導入についての意見

○賛成意見

- ◇小中連携校という新しい取り組みなので、制服を導入した方が子どもたちの意識が高まる。
- ◇住吉中学校の生徒であることがわかるため、安全である。
- ◇新しい学校になるので、制服も一新してほしい。
- ◇昔とは気温、環境も変わってきているので、セーラー・詰襟では寒暖の調節が難しい。

○反対意見

- ◆小中連携校だからといって、制服に変える意味が分からない。
- ◆標準服やセーラー服を着る機会は中学校しかなく、なくす必要はない。
- ◆経済的な負担が増える。
- ◆兄、姉の標準服が再利用できなくなる。

小学校の制服導入についての意見

○賛成意見

- ◇小中連携校なので、制服をそろえてほしい。
- ◇見た目をそろえると、規律の乱れが減少すると思う。
- ◇長い目でみると、私服を購入し続けるよりも経済的負担は少ない。
- ◇毎日の洋服選びに困らずに済む。

○反対意見

- ◆小中連携校だからといって、制服に変える意味が分からない。
- ◆新しく制服を購入しなければならないため、経済的負担が増える。
- ◆小学校の6年間は子供の成長が著しく、頻繁な買い替えが必要なため、経済的な負担が大きい。
- ◆動きやすく、汚れても着替えが容易な私服の方がよい。

## 意見に対する整理

### 1. 中学校の制服導入について

アンケート集計結果では賛否が半々となっており、寄せられた意見の大きな視点と思われる事項について再度確認及び協議を行い、独自の制服の導入の可否について意見の集約を行う。

#### 制服導入の意義に関する意見

◇：賛成 ◆：反対

- ◇小中連携校という新しい取り組みなので、制服を導入した方が子どもたちの意識が高まる。
- ◇住吉中学校の生徒であることがわかるため、安全である。▪
- ◇新しい学校になるので、制服も一新してほしい。
- ◆小中連携校だからといって、制服に変える意味がわからない。▪

#### 制服導入の意義の確認

- ・住吉小中学校の児童生徒としての自覚がより強まり、学校に対する「誇り」や「愛着」が醸成され、新設校のブランド化にもつながる。
- ・他の市立校の児童生徒と明確に区別されるため、周囲からの関心を意識することで規律意識が高まる。

#### 経済的負担に関する意見

◇：賛成 ◆：反対

- ◆経済的な負担が増える。▪
- ◆兄、姉の標準服が再利用できなくなる。

#### 経済的負担についての考え方

現在の標準服と同程度の価格設定とすることで、原則として費用負担を抑えることができる。

※ただし、導入の可否に先立ち、アンケートの意見を踏まえて下記の事項について検討が必要である。

- ①：現小学校6年生は来年度標準服を購入する必要があるが、再来年度に再度独自制服を購入する必要が生じること。
- ②：現中学校1年生はすでに標準服を購入済みであるが、再来年度に再度独自制服を購入する必要が生じること。
- ③：兄、姉の標準服の再利用を予定していた世帯がかなりあると思われ、これらの世帯では新たな費用負担となるという意見が見受けられること。
- ④：途中で転入してくる生徒に対する対応。

以上を踏まえ、移行期間における経過措置や特例措置について協議を行う。

## 2. 小学校の制服導入について

アンケート集計結果では、「現在の私服のまま」を希望する意見が多数を占めている状況であり、また、「一部を統一した服装」を希望する意見も一定数あることから、これらの結果も参考として協議を行い、「独自の制服」「現在の私服のまま」「一部を統一した服装」について意見の集約を行う。

### 制服導入の意義に関する意見

◇：賛成 ◆：反対

- ◇小中連携校なので、制服をそろえてほしい。▪
- ◇見た目をそろえると、規律の乱れが減少すると思う。
- ◆小中連携校だからといって、制服に変える意味がわからない。▪

### 制服導入の意義の確認（再掲）

- ・住吉小中学校の児童生徒としての自覚がより強まり、学校に対する「誇り」や「愛着」が醸成され、新設校のブランド化にもつながる。
- ・他の市立校の児童生徒と明確に区別されるため、周囲からの関心を意識することで規律意識が高まる。

### 経済的負担に関する意見

◇：賛成 ◆：反対

- ◇長い目でみると、私服を購入し続けるよりも経済的負担は少ない。▪
- ◆新しく制服を購入しなければならないため、経済的負担が増える。
- ◆小学校の6年間は子供の成長が著しく、頻繁な買い替えが必要なため、経済的な負担が大きい。

### その他の意見

◇：賛成 ◆：反対

- ◇毎日の洋服選びに困らずに済む。
- ◆動きやすく、汚れても着替えが容易な私服の方がよい。

# 住吉中学校ブロック学校教育部会

## 第5回会議資料

日時：平成25年11月7日（木） 19：00

場所：住吉小学校 プレハブ2階会議室

新設校における制服導入の検討について

### 1. 制服導入の事例について

- 制服導入校の制服（デザイン・価格）
- 制服導入校における保護者、児童・生徒、学校の意見
- 販売店における制服の割引・アフターサービスについて

### 2. 中学校の制服導入の検討について

### 3. 小学校の制服導入の検討について

# 1. 制服の導入事例

○鹿児島県南さつま市立坊津小・中学校（平成22年度に小・中ともに導入）  
ぼうのつ



## ○制服の価格（小学校）

区分		タイプ	価格
男子	制服（冬・上着）	詰襟タイプ	約11,000円
	ズボン	半ズボン	約5,000円
	制服（夏・上着）	半袖ポロシャツ	約1,500円
	ズボン	半ズボン	約4,500円
女子	制服（冬・上着）	セーラージャケット	約11,500円
	スカート	吊スカート	約6,000円
	付属品	リボン	約1,500円
	制服（夏・上着）	半袖ポロシャツ	約1,500円
	スカート	吊スカート	約6,000円

【男子（小学生）】  
 制服一式 約22,000円

【女子（小学生）】  
 制服一式 約26,500円

※別途、上着の下に着用するポロシャツ、ブラウスが必要。  
 ※ニットベスト（約3,500円）、セーター（約4,000円）は希望者のみ購入。

## ○制服の価格（中学校）

区分		タイプ	価格
男子	制服（冬・上着）	詰襟タイプ	約20,000円
	ズボン	ズボン	約10,000円
	制服（夏・上着）	開襟シャツ	約4,000円
	ズボン	ズボン	約8,500円
女子	制服（冬・上着）	セーラージャケット	約14,500円
	スカート	腰スカート	約10,500円
	付属品	リボン	約1,500円
	制服（夏・上着）	セーラータイプ	約6,000円
	スカート	腰スカート	約10,500円

【男子（中学生）】  
 制服一式 約42,500円

【女子（中学生）】  
 制服一式 約43,000円

※別途、上着の下に着用するカッターシャツ、ブラウスが必要。  
 ※ニットベスト（約3,500円）、セーター（約4,000円）は希望者のみ購入。

※機能面の特徴として、洗濯可能

○佐賀県多久市立西溪<sup>せいけい</sup>小・中学校（平成25年度に小・中ともに導入）

前期（1～4年）

中期（5～7年）

後期（8～9年）



○制服の価格（前期）

区 分		タイプ	価格
男子	制服（冬・上着）	ブレザータイプ	約12,000円
	ズボン	半ズボン	約5,000円
	制服（夏・上着）	半袖ポロシャツ	約2,000円
	ズボン	夏半ズボン	約4,500円
女子	制服（冬・上着）	ブレザータイプ	約12,000円
	スカート	チェックスカート	約7,000円
	制服（夏・上着）	半袖ポロシャツ	約4,500円
	スカート	チェックスカート	約6,500円

【男子（前期）】  
制服一式 約23,500円

【女子（前期）】  
制服一式 約30,000円

※別途、上着の下に着用するポロシャツが必要。

○制服の価格（中期・後期）

区 分		タイプ	価格
男子	制服（冬・上着）	ブレザータイプ	約15,000円
	ズボン	スラックス	約9,000円
	付属品	ネクタイ	約2,000円
	制服（夏・上着）	開襟シャツ	約3,000円
	ズボン	夏スラックス	約8,500円
女子	制服（冬・上着）	ブレザータイプ	約15,000円
	スカート	チェックスカート	約11,500円
	付属品	ネクタイ	約2,000円
	制服（夏・上着）	セーラータイプ	約6,500円
	スカート	チェックスカート	約11,000円

【男子（中期・後期）】  
制服一式 約37,500円

【女子（中期・後期）】  
制服一式 約46,000円

※別途、上着の下に着用するカッターシャツ、ブラウスが必要。

※機能面の特徴として、①洗濯可能、②消臭機能あり



○大阪府箕面市立彩都の丘学園（平成23年度に小学5年生から導入）

※小学1～4年生は私服

中期（5～7年）

後期（8～9年）



○制服の価格（中期・後期とも同一価格）

区分		タイプ	価格
男子	制服（冬・上着）	ブレザー	約21,000円
	ズボン	チェックズボン	約11,000円
	付属品	ネクタイ	約2,000円
	制服（夏・上着）	シャツまたはポロシャツ	約2,500円
	ズボン	チェックズボン	約9,500円
女子	制服（冬・上着）	ブレザー	約21,000円
	スカート	チェックスカート	約12,000円
	付属品	リボン	約2,000円
	制服（夏・上着）	シャツまたはポロシャツ	約2,500円
	スカート	チェックスカート	約11,000円

【男子】  
制服一式 約46,000円

【女子】  
制服一式 約48,500円

※別途、上着の下に着用する  
カッターシャツ、ブラウス  
が必要。

※機能面の特徴として①洗濯可能、②消臭・③しわ防止・④形態安定・⑤ストレッチ機能あり



## 制服を導入した学校の保護者、児童・生徒、学校の意見

### ◆南さつま市立坊津小・中学校

	保護者の意見	児童・生徒の意見	学校の意見
良かった点	○子どもたちが喜んで着ている。	○かわいい制服になってうれしい。	○小・中の一体感の形成に大きく貢献した。 ○新しい学校のイメージを内外にアピールできた。
悪かった点	○デザイン面などもう少し保護者の意見を取り入れてほしかった。 ○男子は詰襟タイプだが、ブレザーを希望していた。	特になし	特になし

### ◆多久市立西溪小・中学校

	保護者の意見	児童・生徒の意見	学校の意見
良かった点	○毎日来ていく服に困らない。 (特に小学校高学年女子児童) ○従来の標準服よりも安く製作できた。 ○生地が進歩しているので、衛生面でケアしやすい。 ○自分たちで選んだ制服なので愛着がある。	○かわいい制服になってうれしい。 ○従来の標準服よりも着やすい。	○落ち着いて授業を受けることができている。 ○その学校の児童・生徒であることが一目でわかるので、安全面に寄与していると思う。
悪かった点	○制服に対しては「窮屈だ」「汚れた場合のケアが大変」という反対意見が多かった。 ※経過措置として移行期間を設け一定期間私服も着用可とすることで導入合意に至った。	○もっとかわいいリボンにしてほしい。	特になし

### ◆箕面市立彩都の丘学園

	保護者の意見	児童・生徒の意見	学校の意見
良かった点	○彩都の丘学園の児童・生徒であるという自覚や仲間意識ができている。 ○かわいい制服を着て子どもたちが喜んで着ている。 ○制服購入費がかかるものの私服を買うよりも年間を通して安くつく。	○デザインが気に入っている。	○子どもたちに落ち着きがみられる。 ○彩都の丘学園の児童・生徒であるという自覚が芽生えている。
悪かった点	○制服の価格が少し高い。 ○成長に合わせた買い替えが負担である。	○小学生の場合、外遊びに制限が生じる。	○導入当初スカートが短くなる傾向にあったが、生徒指導を行い改善された。

## 販売店における制服の割引・アフターサービスについて

### ◆割引について

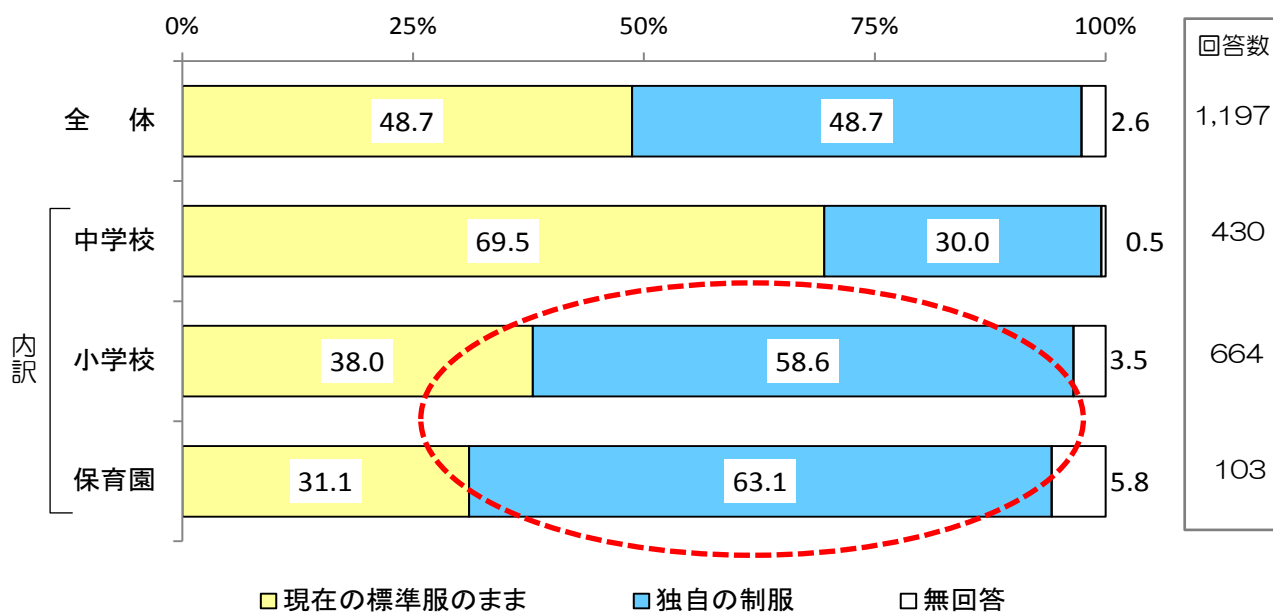
独自制服の場合、現在の標準服と違い販売数が少なくなるので、利益を考慮すると割引は難しい。

### ◆アフターサービスについて

無料補正などのアフターサービスの可否については、制服メーカーとの協議を要する。

## 2. 中学校の制服導入の検討について

### ○前回のアンケート結果と再分析



全体として「現在の標準服のまま」と「独自の制服」を希望する意見が同数となっているが、内訳をみると、今後中学校に進学することとなる小学校関係者や保育園関係者の意見では「独自の制服」を希望する意見が多数を占める傾向となっている。

### ○前回（第4回）の学校教育部会後の動向

- ◆本年4月の意向調査実施以降、PTA役員を中心に制服の展示会に参加されるなど、制服に対する理解が深まった面もあると思われ、徐々に賛成意見が増加する傾向にある。

## ○前回学校教育部会で確認した経過措置・特例措置について

### アンケートの意見を踏まえた検討事項

- ①：現小学校6年生は来年度標準服を購入する必要があるが、再来年度に再度独自制服を購入する必要が生じること。
- ②：現中学校1年生はすでに標準服を購入済みであるが、再来年度に再度独自制服を購入する必要が生じること。

### 検討事項に対する経過措置

経過措置として、独自の制服に加え、購入済みの標準服の着用も可とする。

- ③：兄、姉の標準服の再利用を予定していた世帯がかなりあると思われ、これらの世帯では新たな費用負担となるという意見が見受けられること。

### 検討事項に対する経過措置

経過措置として、標準服の再利用も認める。

- ④：途中で転入してくる生徒に対する対応。

### 検討事項に対する特例措置

特例措置として、転入前の服装も認める。

## ○中学校の制服導入についての意見集約について

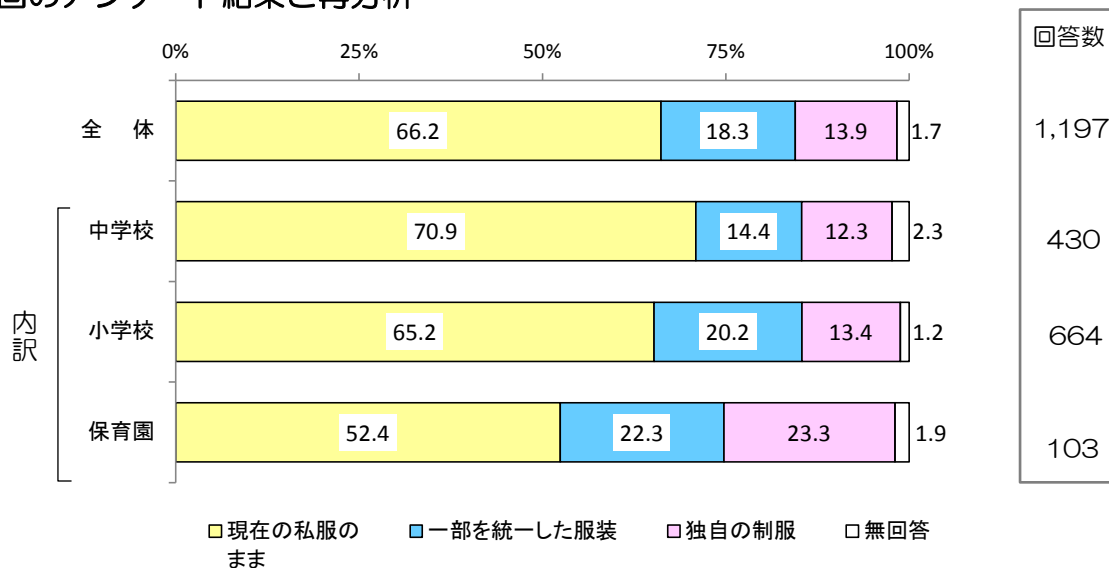
**上記を踏まえ、中学校の制服導入について学校教育部会としての意見を集約する。**

### ※今後の進め方

- ①学校教育部会の結果を開校準備委員会へ報告
- ②開校準備委員会の協議結果を周知  
→学校から保護者等へ周知を行うとともに、開校準備委員会ニュースでの周知も並行して行う。
- ③「導入」で意見が集約された場合  
→年明けからデザインについて学校及びPTAを中心に検討し、適宜学校教育部会を開催し協議を行う。 ※なお最終デザインは6月頃までに決定する必要がある

### 3. 小学校の制服導入の検討について

#### ○前回のアンケート結果と再分析



全体の約3分の2が「現在の私服のまま」を希望しており、内訳をみても、中学校関係者、小学校関係者、保育園保護者ともに「現在の私服のまま」を希望する意見が多数を占めている。

ただし、制服導入の影響を受ける保育園保護者については、半数近くが「独自の制服」か「一部を統一した服装」を希望している。

#### ○前回の学校教育部会後の動向

- ◆保護者の中に制服に対する理解が一定程度浸透する傾向にある。
- ◆一方で、制服に対する反対の意見も依然として強い。

#### 住吉小学校での制服展示会

- 実施日：平成25年10月18日（金）
- 目的：本年4月に実施したアンケートの中で、「実際に制服を見てみないとよくわからない」という保護者の意見があり、理解を深めてもらうために展示会を実施したもの。また、今後の検討にあたり参考とするため、導入に対する意見などについてアンケートを実施した。
- アンケート方法：展示会場にアンケート用紙を据え置き、観覧した保護者が展示した制服に対する感想や導入に対する意見などを記入し、回収箱に投函。
- アンケート結果：33人の保護者から意見が寄せられた。

#### 【寄せられた主な意見】

- ◇ぜひ導入してほしい。
- ◇私服だと服選びが難しい。
- ◇費用面で制服を導入しても私服とあまり変わらないようなので制服がいい。
- ◇導入の場合、在校生には私服の着用を認めるとともに、希望者は制服を購入できるようにするとよい。
- ◆経済的負担が増えるので反対。
- ◆小学生はサイズがすぐ変わる所以で私服の方がよい。
- ◆汚れることが多く、汚れることを気にして過ごすことになる。
- ◆汚れや破損があった際に、すぐに替えがきかないことが難点。

## ○服装を統一する場合の導入手法について

### 【制服と標準服について】

#### ◆制服

学校で決められた服を全員着用する。

#### ◆標準服

着用することが望ましいとされている服で、やむを得ない理由があるときは指定した服に準じた服を着ることができる。

## ○統一した服装を導入することに伴う新たな経済的負担について

### ◆統一した服装を購入することによる新たな負担

私服の購入費が減少することで、新たな負担は抑制できる。

さらに、中学校の経過措置等を踏まえ小学生も新一年生から随時導入することとし、新設校開校時の在校生については現状どおりの私服も可とすれば、制服等を希望しない在校生の保護者の負担は生じない。

### ◆成長著しい時期における、統一した服装の買い替え負担

現在の制服・標準服はある程度の調整機能はついているものの、成長に伴う買い替えはやむを得ず、新たな費用負担の増要因となる。

以上を踏まえ、小学校の統一した服装の導入について、学校教育部会としての意見を集約する。

①開校と同時に制服として導入を行う。

②開校と同時に標準服として導入を行う。

③開校と同時に一部を統一した服装の導入を行う。（統一する内容については今後検討する）

④現状では経済面や活動面に対する懸念から導入に反対する意見が多いことを踏まえ、開校に合わせた導入は見送ることとし、開校後に状況をみて導入の再検討を行う。

### ※今後の進め方

①学校教育部会の結果を開校準備委員会へ報告

②開校準備委員会の協議結果を周知

→学校から保護者等へ周知を行うとともに、開校準備委員会ニュースでの周知も並行して行う。

③「導入」で意見が集約された場合

→本年4月のアンケートで反対意見が多かったこと、また、その後一定程度意向の変化が見られることから、再度保護者に対し意向調査を実施することとし、この調査の時期や内容については学校長に一任し、導入にかかる最終決定を行う。

# 住吉中学校ブロック学校教育委員会

## 第6回会議資料

日時：平成26年1月22日（水） 19：00

場所：住吉小学校 プレハブ2階会議室

- 1 小学校の標準服について
- 2 住吉小中学校独自の特色ある教育の推進
  - ・ 時制のあり方の検討
  - ・ 教育構想（案）

# 小学校の標準服について

## 最終意向調査の結果について

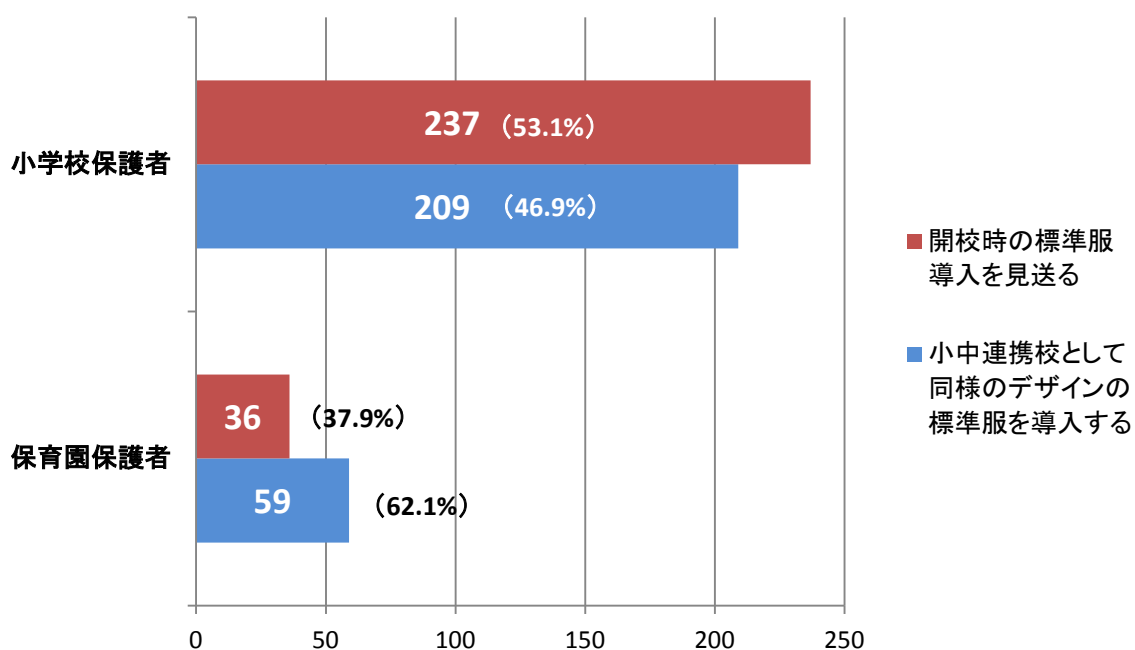
### ○前回の学校教育部会の協議結果

学校教育部会の意見として「開校と同時に標準服として導入を行う」ということで一旦集約するが、費用負担を行う保護者の意向を優先すべきであることから、保護者を対象に再度意向調査を行い、その結果を踏まえ導入について最終判断を行う。

### ○最終意向調査について

1. 目的：標準服の効用について一定の周知が図られた中で、最終的な標準服の導入の判断にあたり、費用負担を行う保護者の意向を反映させるため、再度意向調査を行うもの。
2. 期間：12月10日（火）～12月17日（火）
3. 対象：◆住吉小学校の保護者  
◆校区内の保育園（どろんこ、松月、光應寺）の保護者のうち、校区内に居住の保護者
4. 調査票：別添のとおり  
※「小中連携校として同様のデザインの標準服を導入する」と「開校時の標準服導入を見送る」との2択から選択
5. 回答枚数：小学校 446枚（回収率：92%）  
保育園 95枚（回収率：49%）

### ○最終意向調査の結果



区分	小学校		保育園	
	票数	割合	票数	割合
開校時の標準服導入を見送る	237票	53.1%	36票	37.9%
小中連携校として同様のデザインの標準服を導入する	209票	46.9%	59票	62.1%



## 最終意向調査の結果

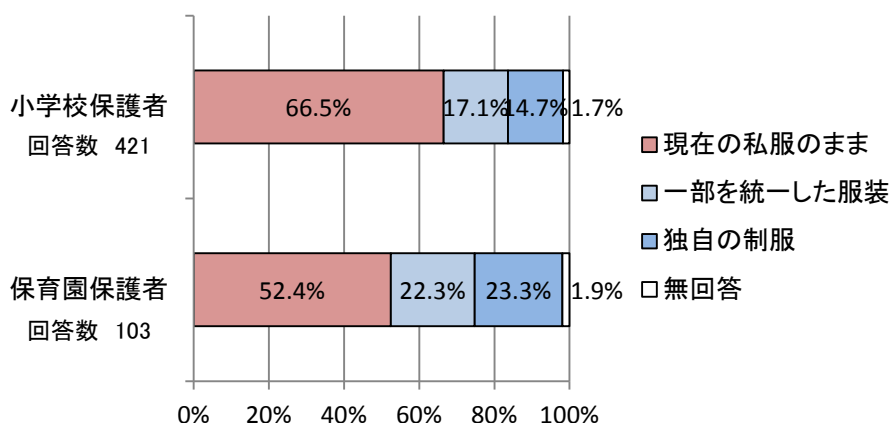
「開校時の標準服導入は見送る」意見が「標準服を導入する」意見を上回っている。

## 前回の協議結果を踏まえた協議内容

小学校の標準服の導入の可否について学校教育部会の意見を集約する。

※参考：4月に行ったアンケート結果（抜粋）

【小学校の制服について】



小学校保護者、保育園保護者ともに「現在の私服のまま」を希望する意見が多い。

## 標準服導入に向けた今後の進め方

### ステップ①

小学校・中学校の標準服導入の可否について、学校教育部会の意見集約結果を開校準備委員会に報告し、承認を受ける

### ステップ②

協議結果を保護者に周知（学校及び開校準備委員会ニュースにて周知）

### ステップ③

中学校の標準服のデザインについて、小・中学校及び各PTAにて検討

### ステップ④

適宜学校教育部会を開催し、デザイン案などを協議

# 住吉小中学校の独自の特色ある教育の推進

## 時制のあり方の検討

小中連携校の開校に向け「住吉サミット」において、小学校45分授業、中学校50分授業と小中間で授業時間に差がある中で、施設一体型のメリットを生かした指導が行えるよう時制のあり方の検討を行っている。

平成26年度には、検討した時制を小・中学校でそれぞれ試行し、効果的な小中連携教育が展開できるよう検討を重ねていく。

## 検討にあたってのポイント

- ① 小学校45分授業、中学校50分授業と小中間で授業時間に差がある中で、施設一体型のメリットである「機動力を生かした中学校教員による小学校への乗り込み授業」を効率的に行うため、2・3・5時限目の授業開始時間をそろえる。
- ② 児童・生徒の登校時間について、小中連携校であることから登校時間をそろえる。
- ③ 学力向上の効果的な取り組みとして、小学校の朝学習を継続して実施するとともに、小学校での基礎学力の着実な定着を図るため、時間を5分拡大し、20分確保。
- ④ 児童・生徒の日常的な交流を促進するため、昼休みと清掃の時間をそろえる。

## 今後の検討課題

- 小学校・中学校の時制の差に伴う、授業時間と休み時間が併存する時間帯における指導方法
- 小・中の給食開始時間が異なる中で、ランチルームを活用した児童・生徒間交流の運用方法
- チャイムの運用 ※例：小・中の時制がそろう時間（昼休みなど）のみ鳴らす  
：ノーチャイムでの運用 など

# 小中連携校の時制 (案)

現在の時制		
小	中	
8 10 20 30 40 50	児童登校8:20 職朝 朝の会 全校朝会・朝学習	生徒登校: 8:25 職朝 朝の会 10
9 10 20 30 40 50	1 8:55~9:40 5	1 8:50~9:40 10
10 10 20 30 40 50	2 9:45~10:30 中休み15 移動 5	2 9:50~10:40 10
11 10 20 30 40 50	3 10:50~11:35 5	3 10:50~11:40 10
12 10 20 30 40 50	4 11:40~12:25 給食 (45分) 12:25~13:10	4 11:50~12:40 給食 (30分) 12:40~13:10
13 10 20 30 40 50	昼休み (45分) 13:10~13:55	昼休み (45分) 13:10~13:55
14 10 20 30 40 50	清掃(15分) 5 14:15~15:00	5 13:55~14:45 10
15 10 20 30 40 50	5 14:15~15:00 6 15:10~15:50	6 14:55~15:45 5
16 10 20 30 40	帰りの会(15分)	清掃(15分) 5 帰りの会(10分)

連携校の時制(案)		
小	中	
8 10 20 30 40 50	児童登校8:25 職朝 朝の会 全校朝会・朝学習	生徒登校: 8:25 職朝 朝の会 10
9 10 20 30 40 50	1 9:00~9:45 5	1 8:50~9:40 10
10 10 20 30 40 50	2 9:50~10:35 中休み15	2 9:50~10:40 10
11 10 20 30 40 50	3 10:50~11:35 5	3 10:50~11:40 10
12 10 20 30 40 50	4 11:40~12:25 給食 (45分) 12:25~13:10	4 11:50~12:40 給食 (30分) 12:40~13:10
13 10 20 30 40 50	4 昼休み (45分) 13:10~13:55 清掃(15分)	昼休み (45分) 13:10~13:55 清掃(15分)
14 10 20 30 40 50	5 14:15~15:00	5 14:15~15:05 10
15 10 20 30 40 50	5 14:15~15:00 6 15:05~15:50	6 15:15~16:05 5
16 10 20 30 40	帰りの会(15分)	帰りの会(10分)

校訓

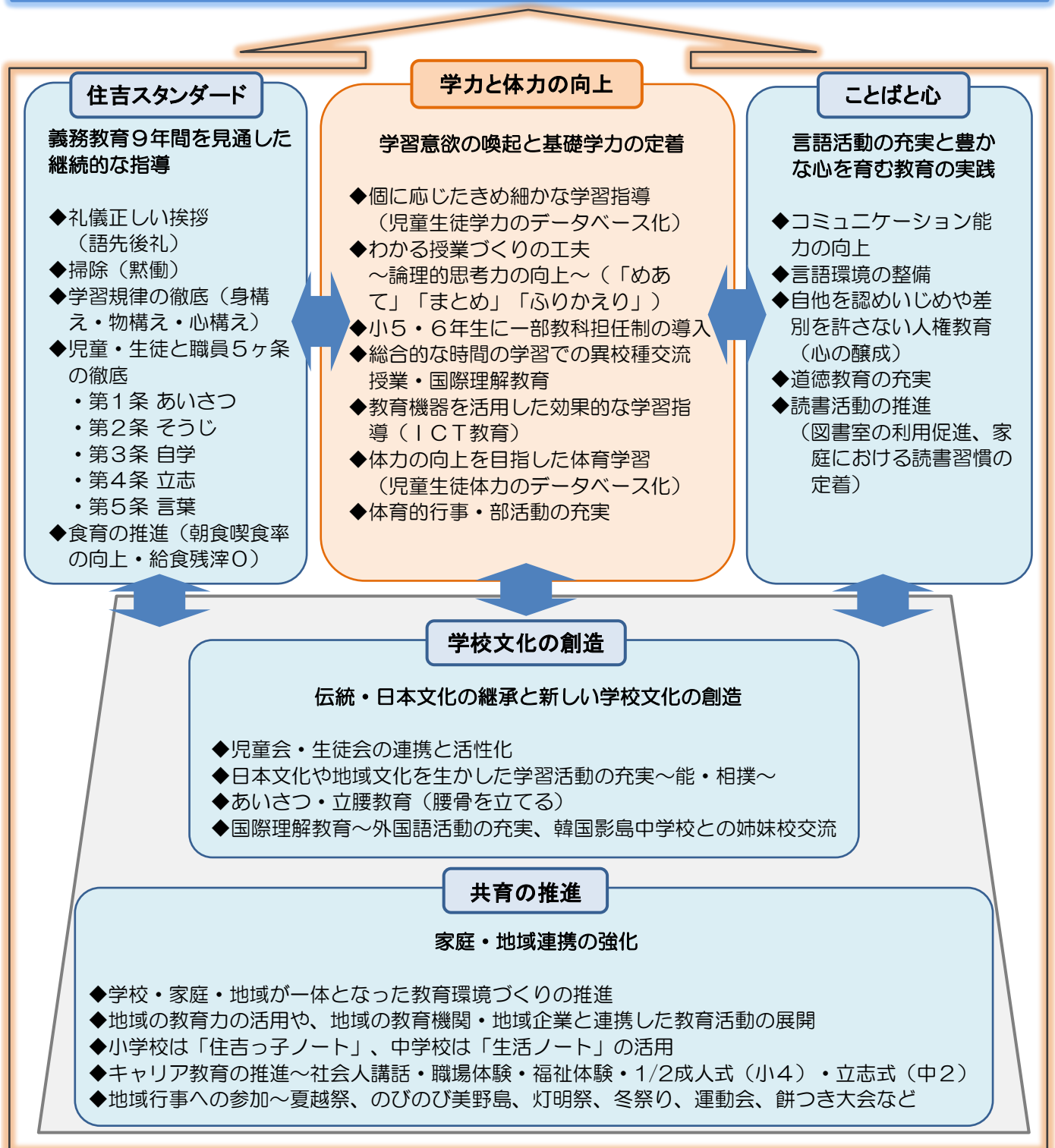
「 礼節 英知 剛健 」  
 ～ すすんで学び、みんな仲良く、よく鍛え、しっかり働く住吉っ子 ～

教育  
目標

ことばと伝統を大切にしたい学校文化を創造し、知・徳・体の調和がとれ、  
 地域社会に役立つ人間力を高めようとする子どもの育成

目指す  
子ども像

『 礼儀正しく よく学び 社会に役立つたくましい児童・生徒 』



## 住吉中学校ブロック小中連携校 交通安全部会報告

## 1. 開催日時・会場

〔第8回〕	平成25年7月18日（木）	19:00～20:00	住吉小学校	会議室
〔第9回〕	平成26年1月28日（火）	19:00～19:55	住吉小学校	会議室

## 2. 議題〔第8回〕及び〔第9回〕

- (1) 新設校開校後の通学路について
- (2) 第2グラウンドにおける部活動について
- (3) 通学路の安全対策について

## 3. 協議結果

## (1) 新設校開校後の通学路について

- 新設校は施設一体型の小中連携校であることから、小中学校とも同一の通学路を使用する。
- 新設校開校後の通学路は、付属資料1ページ図のとおりとする。

## (2) 第2グラウンドにおける部活動について

- 新設校開校後、運動部の一部が新設校敷地から離れた第2グラウンド（現住吉中学校）で部活動を行うため、集合及び解散場所、並びに移動経路について検討を行い、下記のとおりとすることとした。
- 集合及び解散場所について

平日	集合場所	新設校校地内で集合し、団体で移動
	解散場所	第2グラウンド
休日	集合場所	第2グラウンド
	解散場所	

- 第2グラウンドを使用する際の経路について
  - ・校区内 —— 新設校の通学路を使用する（付属資料1ページ緑色線）
  - ・校区外 —— 現住吉中学校の通学路（付属資料1ページ紺色破線）

## (3) 通学路の安全対策について

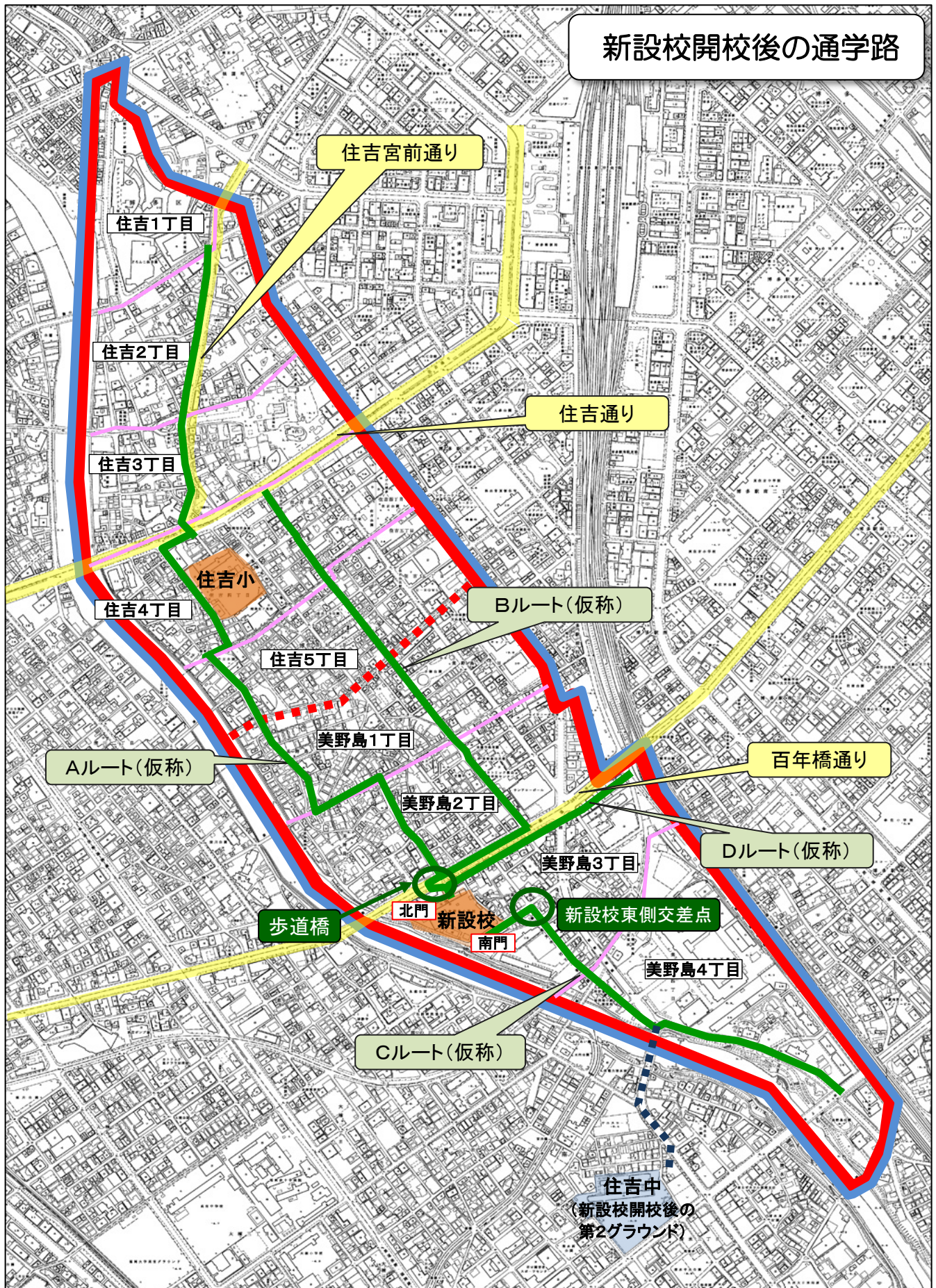
- 新設校開校後の通学路は既存の通学路を使用する部分が多く、これまで一定の安全対策を実施してきたが、改めて安全確認を行い、追加して対応が必要な箇所について警察要望も含め25年度及び26年度に安全対策を行っていく。
- 安全対策実施箇所・整備内容・整備イメージ図は付属資料3～6ページのとおり。

住吉中学校ブロック小中連携校  
交通安全部会報告

付 属 資 料



(1) 新設校開校後の通学路について





ルート名 (仮称)	概 要	経 路
A	住吉1～3丁目及び住吉4丁目から美野島2丁目（美野島通り以西）における通学路	<p>◆住吉通り以北は「住吉宮前通り」を指定し、西側の歩道を通行</p> <p>◆住吉通り横断後は、住吉小学校の西門横を通り、現Aルートに接続 【理由】・住吉通りとの交差点の見通しがよいこと ・歩道が一定区間整備済であること ・住吉小西門から南は現在の通学路であり、子どもたちが通い慣れていること</p> <p>◆百年橋通りは歩道橋を横断し、北門へ進入</p>
B	住吉4丁目から美野島2丁目（美野島通り以东）における通学路	◆現Bルートから百年橋通り北側歩道を通行し、歩道橋を横断して、北門へ進入
C	美野島3・4丁目における通学路	◆新設校東側交差点までは現行の通学路を使用し、同交差点から左折後、南門へ進入
D	美野島3丁目東部における通学路	◆美野島アンダーパス南側側道から百年橋通り南側歩道を通行し北門へ進入

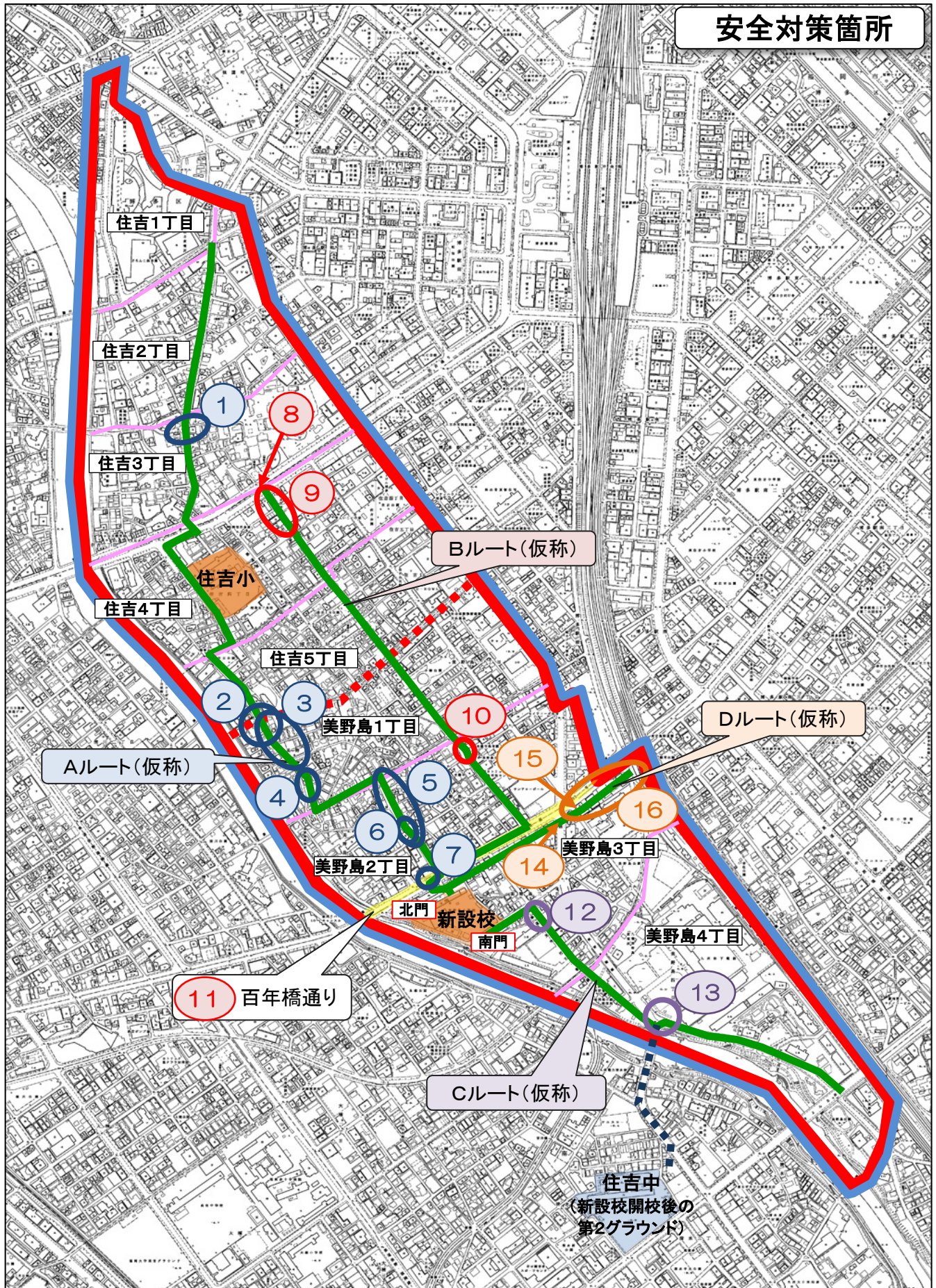
※小柳通りの通学路指定の検討について

検討の結果、下記の理由により、小柳通りを通学路として追加指定することは見送り、現在安全に通学できているBルートを使用することとした。

- ・交通量調査の結果、ミスターマックス開店に伴い車両の交通量が増加していること。
- ・一部区間を除き歩道整備がなされているものの、特にミスターマックス東側は店舗出入口があるため車両が輻輳しており、車両との交錯の危険性が高いこと。
- ・通学路に追加指定した場合、登下校集団及び見守りポイントも分散化すること。



### (3) 通学路の安全対策について





## 整備内容

※各整備箇所のイメージは5～6ページを参照

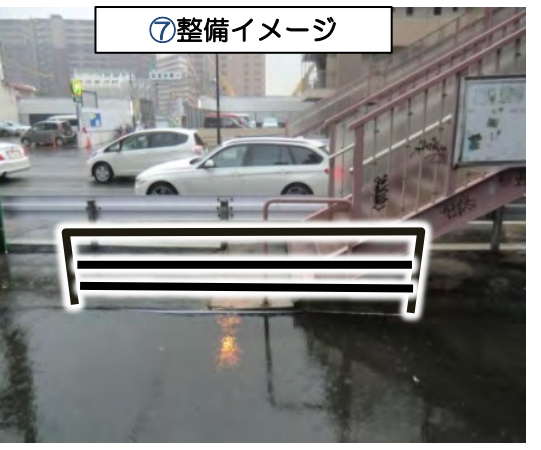
ルート名 (仮称)	箇所	課題	対応	実施年度	整備主体
A	①	住吉神社前交差点の南側横断歩道の再塗装	対応を要望し、警察にて整備済み。	整備完了	警察
	②	停止線の再塗装			
	③	路側のカラー化	既存のカラー化部分を南側に約110m延長。	25n	博多区
	④	道路幅員狭隘区間の安全対策	見通しの悪いカーブの路面を赤系色でカラー化。		
	⑤	路側のカラー化	道路西側部分の路側のカラー化。		
		⑥	横断歩道の再塗装	対応を要望し、警察にて整備済み。	整備完了
A・B	⑦	歩道橋北側昇降地点における自転車との交錯	昇降地点に手すり（幅3.5m、高さ0.8m）を新規に設置。	25n	博多区

ルート名 (仮称)	箇所	課題	対応	実施年度	整備主体
B	⑧	住吉通りと現Bルートとの交差部分の安全対策	停止線の再塗装及び路面標示を整備。	25n	博多区
	⑨	路側のカラー化	新設校の通学路となる27年度にあわせて、26年度中に路側のカラー化。	26n	
	⑩	駐車禁止標識の設置	スーパーマミーズ横に駐車禁止標識の設置を要望し、警察にて設置済み。	設置完了	警察
B・D	⑪	百年橋通り歩道の自転車との交錯	車道に自転車専用レーンを整備。	26n	博多区

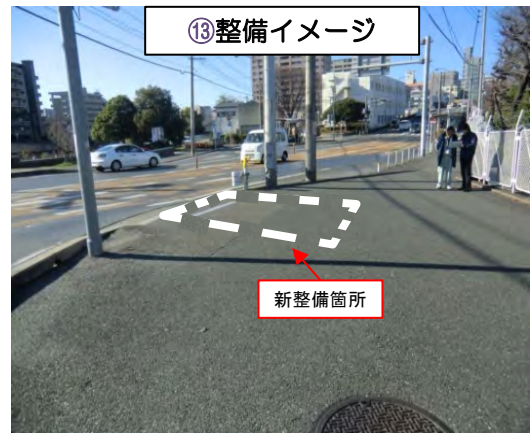
ルート名 (仮称)	箇所	課題	対応	実施年度	整備主体
C	⑫	路側のカラー化の剥離	路側の再塗装。	25n	博多区
	⑬	信号待機時における自転車との交錯	横断歩道手前に白色破線の四角形（サイズ：縦3m×横2.5m）で待機場所を明示。		

ルート名 (仮称)	箇所	課題	対応	実施年度	整備主体
D	⑭	美野島交差点の安全対策	歩道の溜まり場にセーフティライト（反射板付ポール）を設置。（ペペチーノ前横断待機場所）	25n	博多区
	⑮	交差点における車両との交錯	外側線を拡張し、外側線上にポストコーンを設置。	26n	
	⑯	路側のカラー化	美野島アンダーパス南側側道の路側のカラー化。		

# 整備イメージ







# 住吉中学校ブロック交通安全部会

## 第8回会議資料

日時：平成25年7月18日（木） 19:00

場所：住吉小学校 プレハブ2階会議室

- 1 新設校開校後の通学路について
- 2 第2グラウンドにおける部活動について

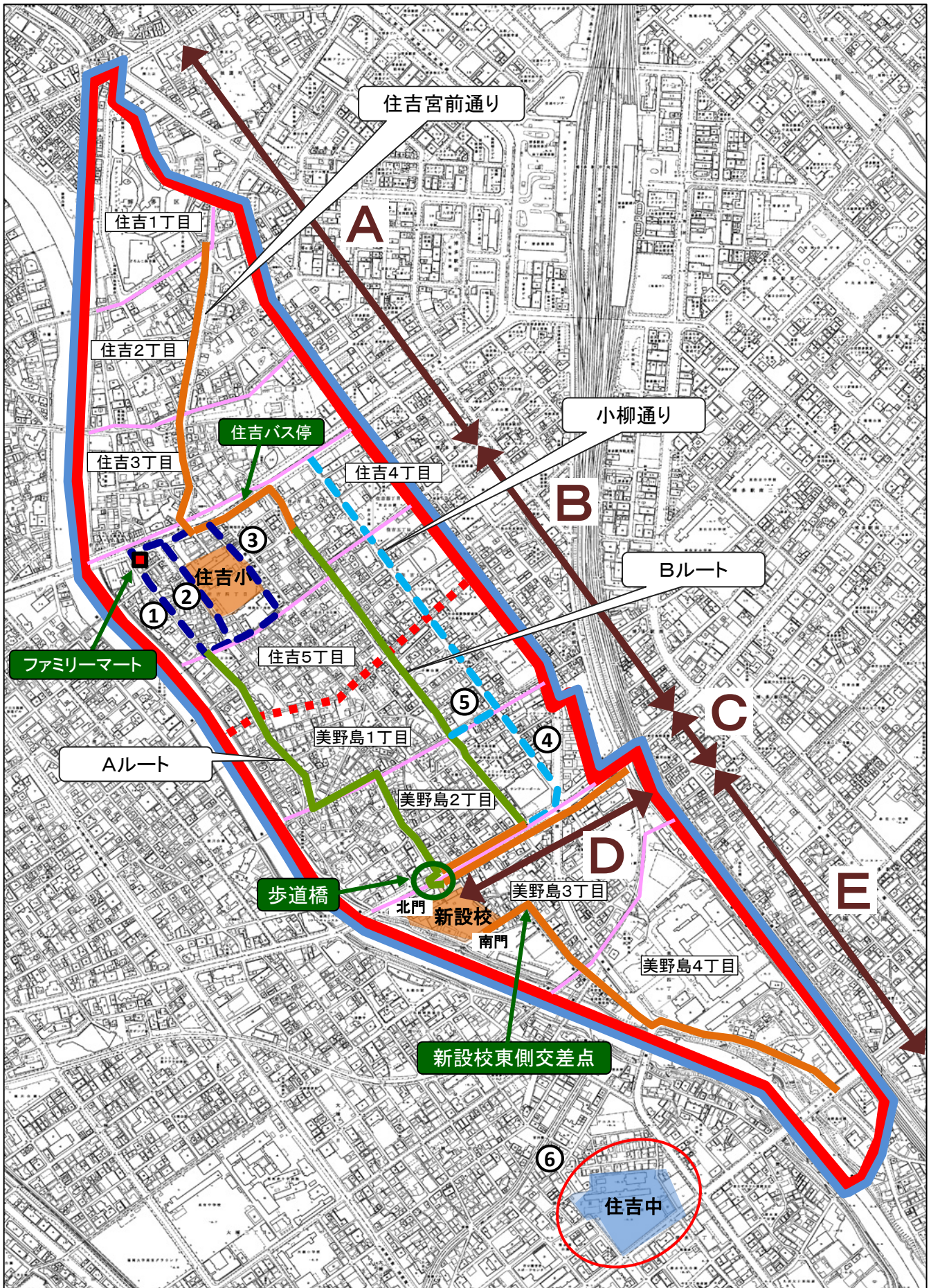
## 新設校開校後の通学路について

### 第7回交通安全部会の振り返り

- ◆第7回交通安全部会において、事務局案に対し出された下記の意見について、個別に検討する。
- ◆なお、新設校は施設一体型の小中連携校であることから、小中学校とも同一の通学路を使用する。

エリア	概要	事務局案	部会における意見
A	住吉1～3丁目から住吉通り横断後の通学路	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆歩道整備された「住吉宮前通り」を指定し、西側の歩道を通行。</li> <li>◆「住吉小学校前」交差点を横断し、住吉通り南側の歩道を通行して、「住吉バス停」先の交差点からBルートへ接続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事務局案では住吉通り以北の子どもたちが遠回りとなるため、Aルートにつなぐルートを設定してはどうか。</li> <li>・案1：ファミリーマートの西側を通るルート（右図①）</li> <li>・案2：住吉小学校の西門横を通るルート（右図②）</li> <li>・案3：住吉小学校の東門横を通るルート（右図③）</li> </ul>
B	住吉4丁目から美野島2丁目における通学路	◆Aルート及びBルートを使用。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子どもの分布状況を見て、小柳通りも通学路として検討してはどうか。</li> <li>◆小柳通りを通学路に設定した場合、旧サンアローポールの横を通るルート（右図④）と、途中で曲がりBルートにつなぐルート（右図⑤）との比較検討が必要。（旧サンアローポール横は歩道未設置のため。）</li> <li>◆通学路が増えることに伴い、見守り体制が分散することに留意すべきである。</li> </ul>
C	美野島2丁目から百年橋通りの横断までの通学路	◆百年橋通りの北側歩道を通行し、横断は歩道橋を使用して、北門へ進入。	◆小中学生とも学校前の歩道橋を使用することが最も安全と考えられる。
D	美野島3丁目東部における通学路	◆百年橋通り南側歩道を通行し北門へ進入。	◆特になし。
E	美野島3・4丁目における通学路	◆新設校東側交差点までは現行の通学路を使用。同交差点から左折し、南門へ侵入。	◆第2グラウンド（現住吉中学校：右図⑥）での部活動については、別途経路を検討すべきである。







## Aエリア(住吉1～3丁目から住吉通り横断後の通学路)

### 第7回交通安全部会における意見

- ◆事務局案では住吉通り以北の子どもたちが遠回りとなるため、Aルートにつなぐルートを設定してはどうか。
  - ・事務局案：住吉通り南側歩道を通り、住吉通りバス停先の交差点からBルートへ接続（右図橙色表示）
  - ・ルート案①：ファミリーマートの西側を通るルート（右図①）
  - ・ルート案②：住吉小学校の西門横を通るルート（右図②）
  - ・ルート案③：住吉小学校の東門横を通るルート（右図③）

### ○各ルート案の現況と課題

ルート案	現況と課題
事務局案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Bルートへつなぐため、住吉通り以北の子どもたちは遠回りとなる。</li> </ul>
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住吉通りは自転車の通行が多く、交差する角は視界が悪いため、自転車等との交錯の危険性がある。</li> <li>・一定の車両通行量があり、道路幅員も狭い。（3.7m～5.0m）</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住吉通りとの交差点は視界が開けており、見通しがよい。</li> <li>・住吉通り～住吉小学校までの55m区間は歩道が整備済。</li> <li>・住吉小西門から南側は現通学路として使用しているルート。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住吉通りと交差する角にコインパーキングがあり、駐車車両がある場合は視界が悪くなるため、自転車等との交錯の危険性がある。</li> <li>・住吉通りから南下する区間は、精華女子高校と同方向の通学路となり、見守り効果も期待できるが、①・②と比べやや遠回りとなる。</li> </ul>

ルート案①：現Aルート方向から住吉通り方向



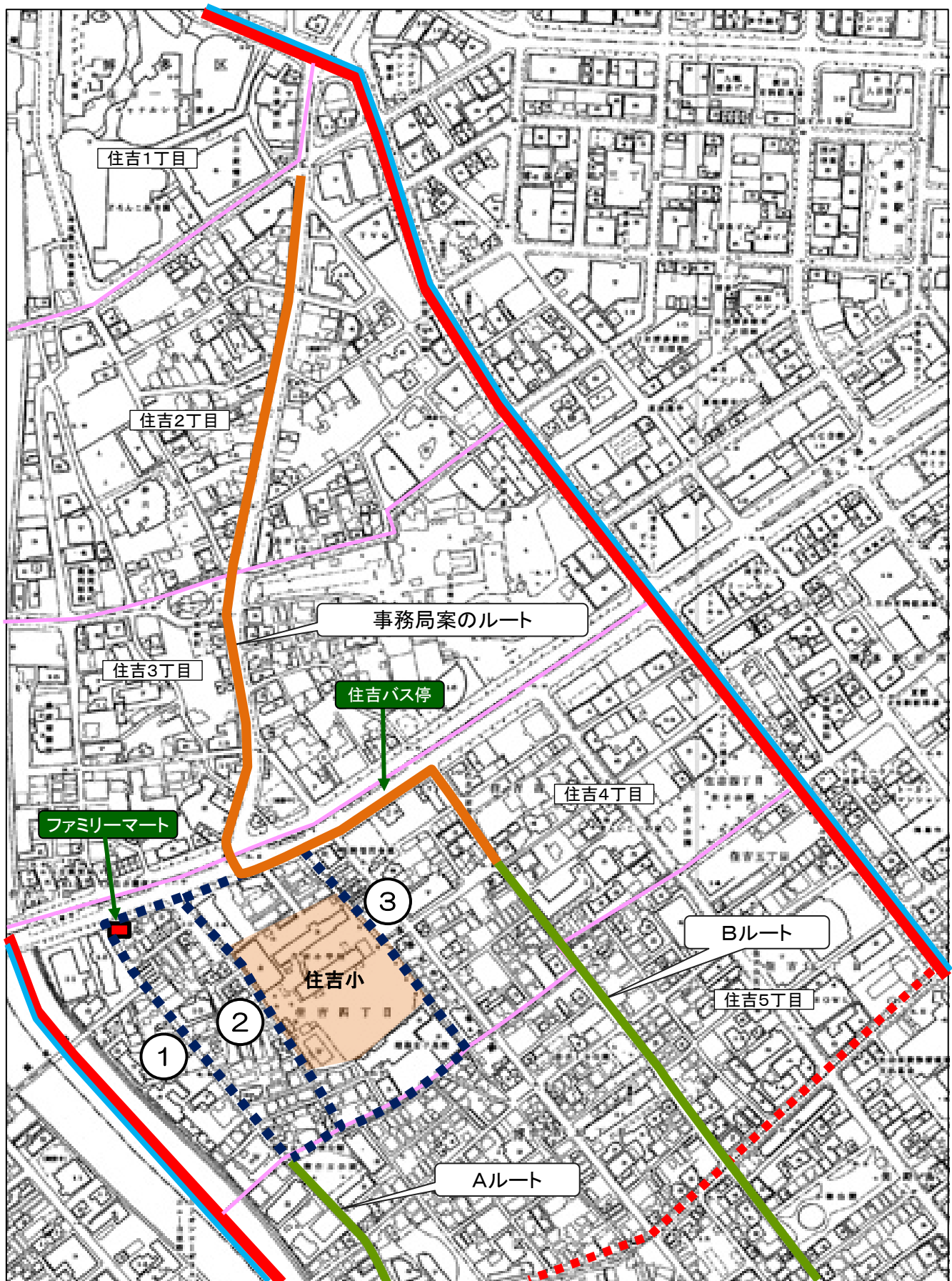
ルート案②：住吉小西門方向から住吉通り方向



ルート案③：住吉小東門方向から住吉通り方向



# Aエリア(住吉1～3丁目から住吉通り横断後の通学路)



## Bエリア(住吉4丁目から美野島2丁目における通学路)

### 第7回交通安全部会における意見

- ◆子どもの分布状況を見て、小柳通りも通学路として検討してはどうか。
- ◆小柳通りを通学路に指定した場合、旧サンアローボールの横を通るルート(右図A)と、途中で曲がりBルートへつなぐルート(右図B)との比較検討が必要。(旧サンアローボール横は歩道未設置のため)
- ◆通学路が増えることに伴い、見守り体制が分散化することに留意すべきである。

### 小柳通りを新規に通学路として指定することの検討

#### 子どもの居住分布から

- Bルート及び小柳通り沿線における児童生徒の居住分布は右図のとおり。
- 小柳通りを通学路指定した場合、主な利用対象者は小柳通り沿線(右図桃色網掛け部分)に居住する児童生徒と考えられるが、Bルートとの並列指定により、学校から離れるに従い小柳通りを通行する児童生徒数はかなり少なくなる。
- 学年間の授業時数の違いや留守家庭子ども会の利用など、時間的な要因で児童生徒数はさらに分散化する。

#### 小柳通りの安全面から

- 小柳通りは現時点においても車両通行量が多いが、今後の旧サンアローボール跡地の開発に伴いさらに日中の交通量の増加が想定される。
- 一部区間を除き歩道整備がなされている。ただし、沿線に駐車場や車庫が多く、出入りのため歩道を横切る車両に留意する必要がある。(右図★印で表示)
- 路上駐車が多く、特に歩道が未設置区間において顕著。(美野島2丁目区間)

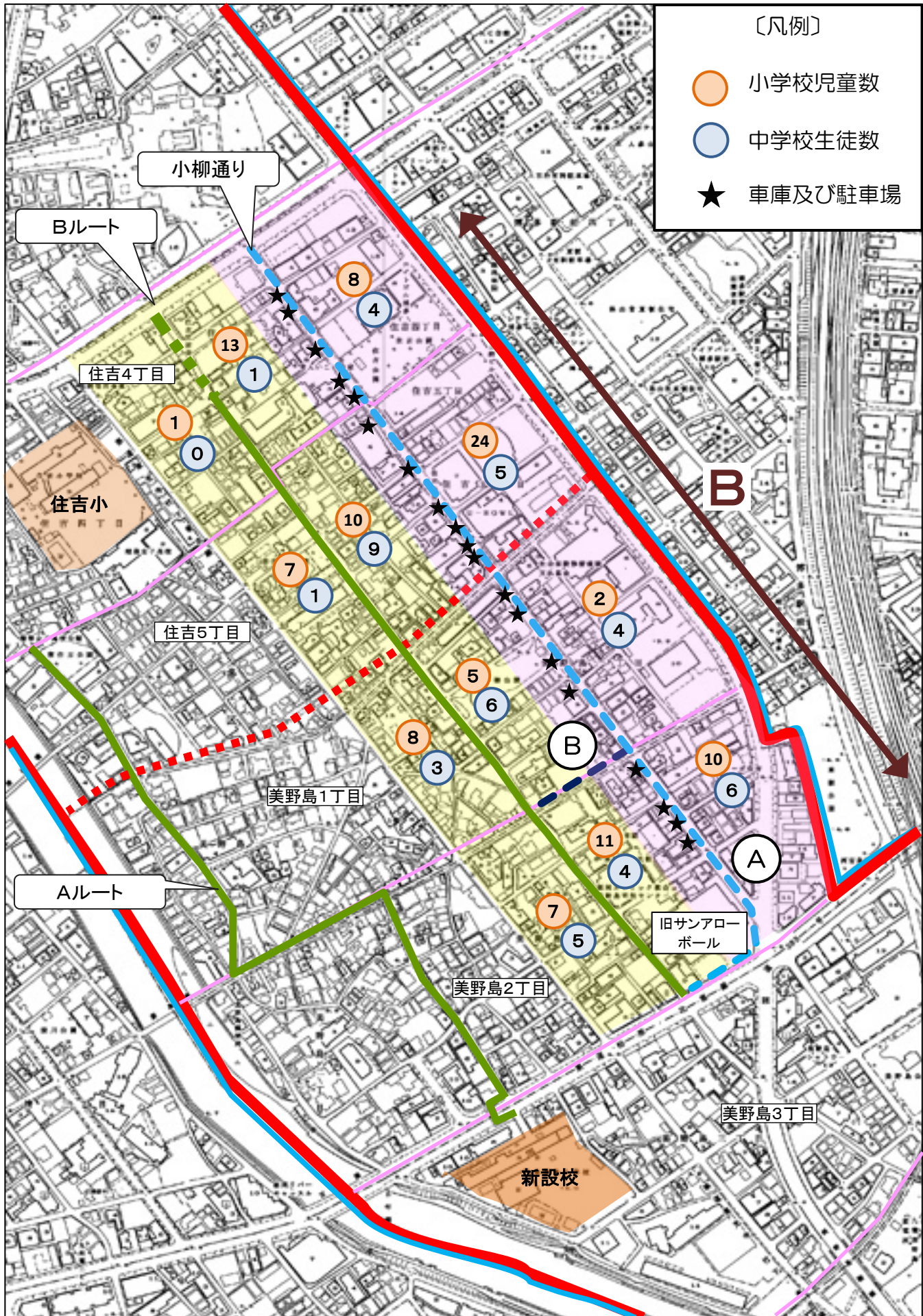
#### 小柳通りの通学路指定における論点

- 居住地に近く使いやすい道路を通学路として別途設定するか、一定集団での登下校の意義を重視し通学路を最小限に限定するかの選択。
- 旧サンアローボール跡地開発に伴う車両通行量や流れの変化を踏まえた小柳通りの安全性の検討。
- 近接する2本の道路を通学路指定することに伴う見守り誘導體制の分散化。



**Bエリア(住吉4丁目から美野島2丁目における通学路)**

H25.5.1 現在





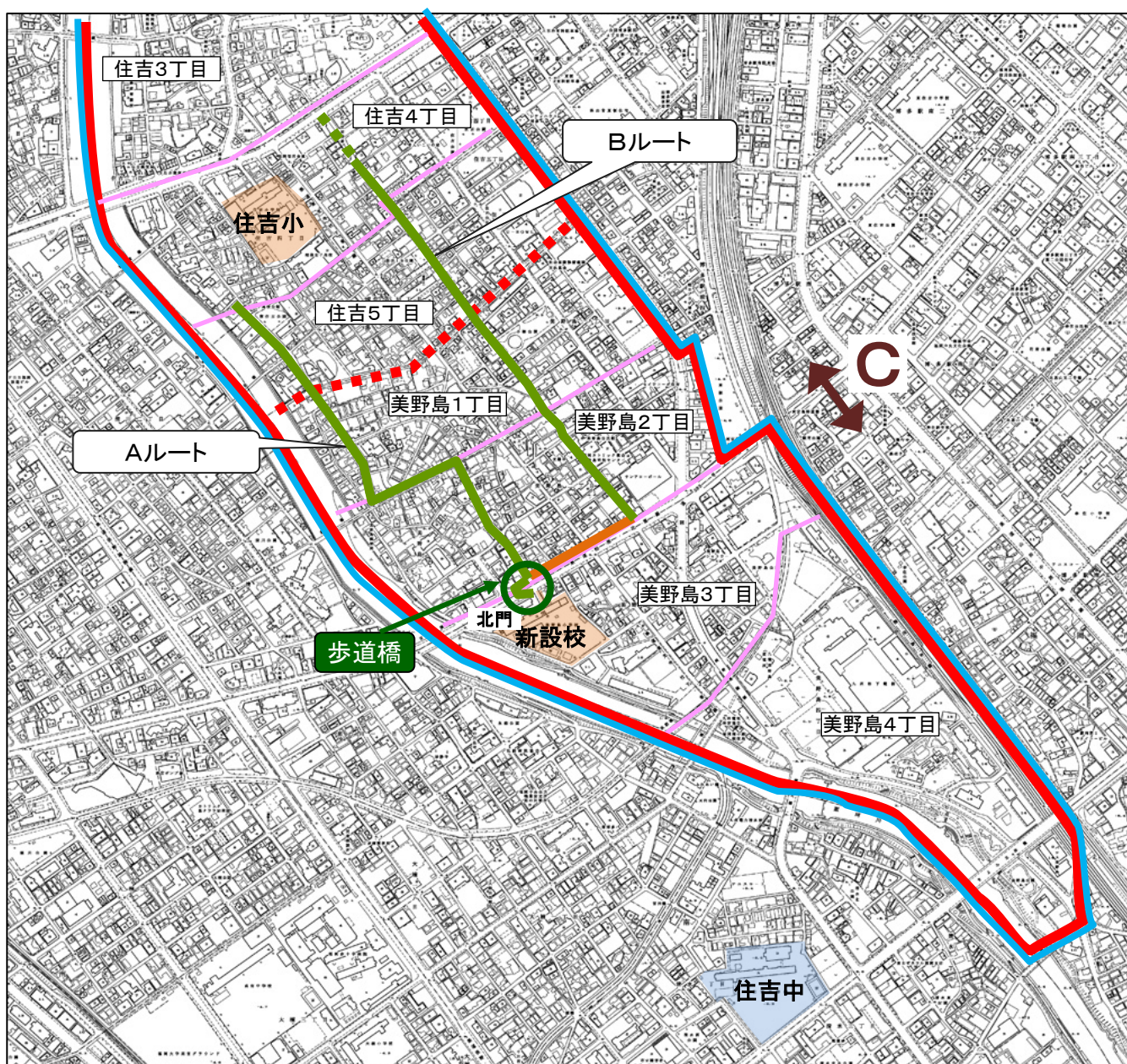
## Cエリア(美野島2丁目から百年橋通りの横断までの通学路)

### 第7回交通安全部会における意見

- ◆小中学生とも学校前の歩道橋を使用することが最も安全と考えられる。

○Aルートを使用するルートについて、百年橋通りの横断は歩道橋を使用し、北門へ進入。

○Bルートを使用するルートについて、百年橋通りは北側歩道を通行し、横断は歩道橋を使用して北門へ進入。





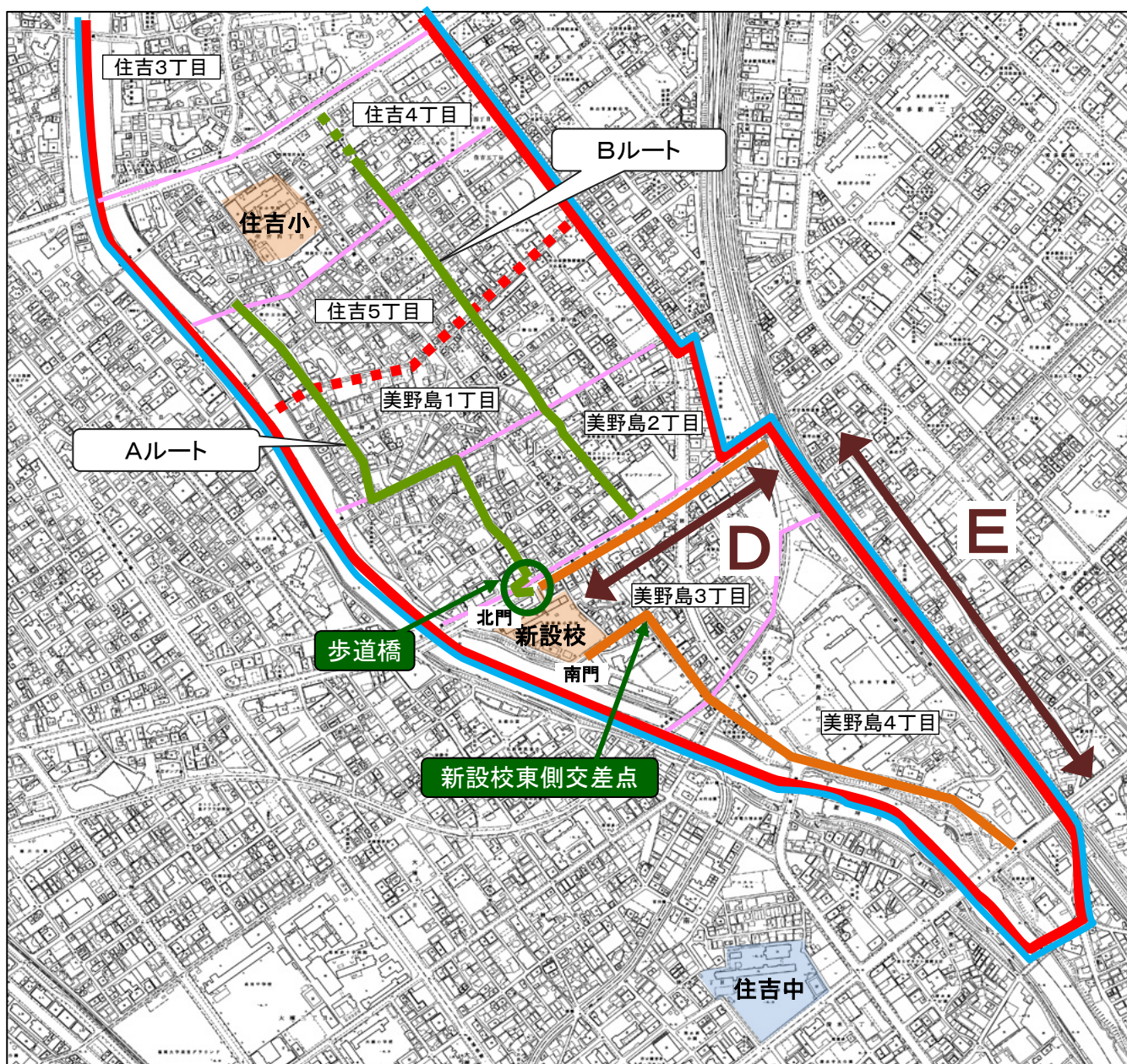
## D及びEエリア(美野島3丁目東部、美野島3・4丁目における通学路)

### 第7回交通安全部会における意見

◆特になし

○Dエリアの通学路について、百年橋通り南側歩道を通行し北門へ進入。

○Eエリアの通学路について、新設校東側交差点までは現行の通学路を使用。同交差点から左折し、南門へ進入。



## 第2グラウンドにおける部活動について

### 第7回交通安全部会における意見

◆第2グラウンド（現住吉中学校）での部活動については、別途、経路を検討すべきである。

部活動の原則：学校にて集合・解散を行う。

#### 小中連携校開校後の住吉中学校の特殊事情

運動部の一部が新設校敷地から離れた第2グラウンドで部活動を展開。

※第2グラウンドを使用する部活動は野球部・サッカー部・テニス部

#### 学校敷地以外の場所における部活動の考え方

- 第2グラウンドも学校施設であるため、第2グラウンドを部活動における集合・解散の場所とすることは差し支えない。（学校指導課見解）
- 第2グラウンドにおける部活動時や、学校と第2グラウンド及び住居と第2グラウンドの経路上における事故等については、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付金の給付対象となる。（健康教育課見解）

○部活動の集合場所及び解散場所、並びに第2グラウンドへの移動経路について検討を行う。

○検討にあたっては、平日（授業のある日）・休日（学校休業日）の運用に分けて協議する。



## 平日（授業のある日）の部活動について

※下線部分は事務局案  
※青色太字部分は  
今回の部会検討項目

### 1. 部活動開始の集合場所及び部活動終了後の解散場所について

#### (1) 集合場所

第2グラウンドまでの移動中における生徒指導面及び安全管理面から、新設校校地内で集合し、団体で移動する。

#### (2) 解散場所

第2グラウンドにおける部活動終了後の解散場所について、学校及び第2グラウンドそれぞれの長所・短所も踏まえ検討する。

#### 学校で解散とした場合

(☆長所 ★短所)

- ☆新設校内に部室を整備しており、更衣や学用品等の私物の保管場所は確保。
- ☆部員は運動着に更衣後、最小限の運動用具をもって移動。
- ★新設校以南に居住する部員は、一旦学校に戻り帰宅するため遠回りとなる。

#### 第2グラウンドで解散とした場合

(☆長所 ★短所)

- ★直接帰宅するためには部活動終了後更衣の必要があり、第2グラウンドまでの移動時に運動着もしくは標準服を持って移動する必要がある。
- ★さらに教科書・ノートなどの学用品も持って移動する必要がある。
- ☆新設校以南に居住する部員は、合理的な経路で帰宅可能。

### 2. 部活動終了後の帰宅経路について

- 学校解散、第2グラウンド解散にかかわらず、校区内では原則として通学路を使用する。  
ただし、冬季の日没が早い時期に限り、防犯面で優位性のある別経路の使用の可否について検討する。※例：美野島通りの一部、小柳通り（裏面図青色表示）
- 第2グラウンド解散とした場合、校区内までのルートは現住吉中学校の通学路を使用する。  
※裏面図紺色破線表示

## 休日（学校休業日）の部活動について

※下線部分は事務局案  
※青色太字部分は  
今回の部会検討項目

### 1. 集合及び解散場所について

運動着のままで集合・解散することが可能であり、教科書等の学用品を所持する必要もないため、第2グラウンドにおいての集合・解散を可とする。

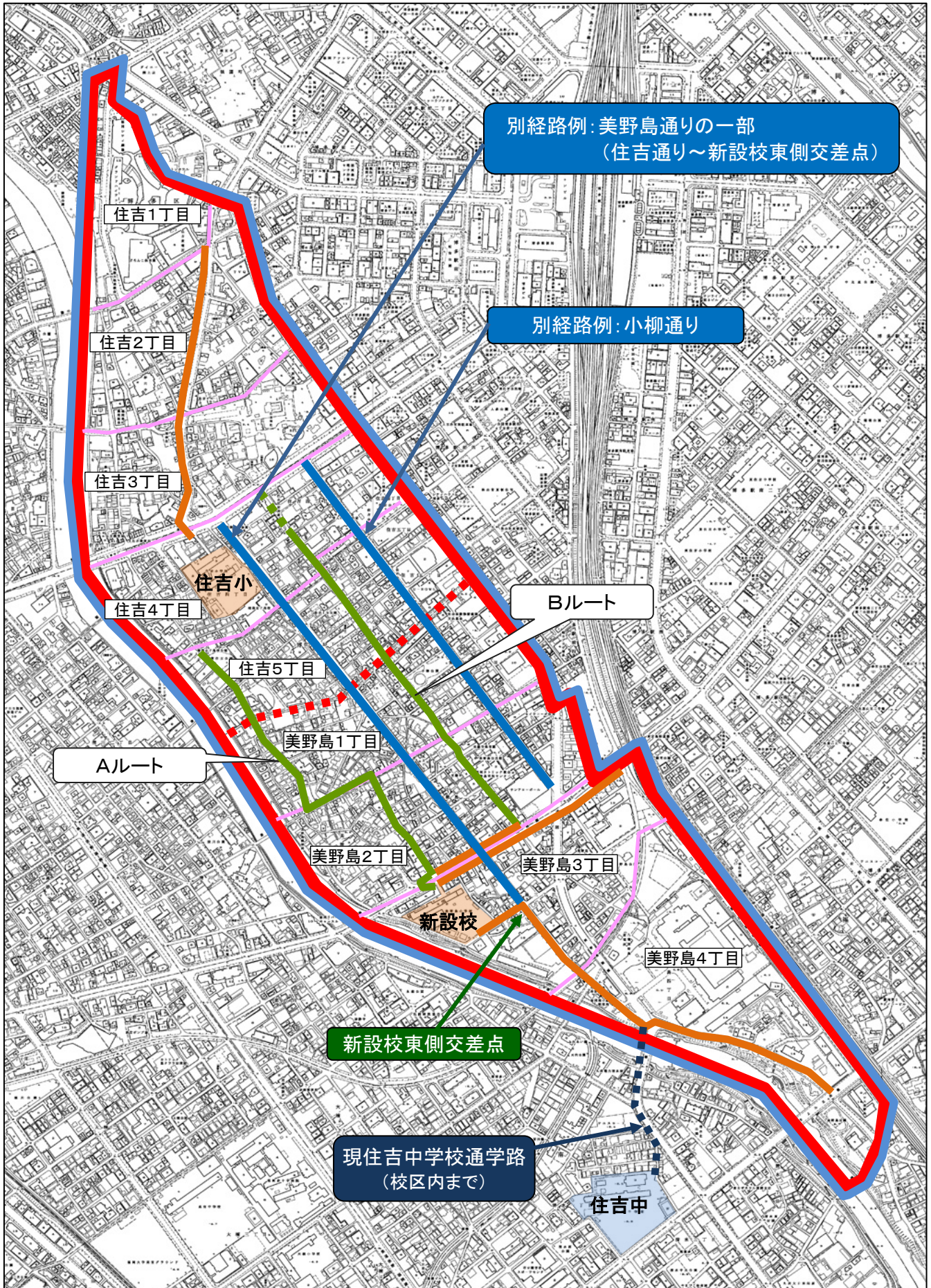
### 2. 第2グラウンドまでの経路について

- 平日と同様、校区内では原則として通学路を使用する。  
ただし、冬季の日没が早い時期に限り、防犯面で優位性のある別経路の使用の可否について検討する。※例：美野島通りの一部、小柳通り（裏面図青色表示）
- 第2グラウンド解散とした場合、校区内までのルートは現住吉中学校の通学路を使用する。  
※裏面図紺色破線表示



## 第2グラウンドにおける別経路(例)

※冬季の日没が早い時期に限り、使用の可否を検討





# 住吉中学校ブロック交通安全部会

## 第9回会議資料

日時：平成26年1月28日（火） 19：00

場所：住吉小学校 プレハブ2階会議室

- 1 新設校開校後の通学路について
- 2 第2グラウンドにおける部活動について
- 3 通学路の安全対策について

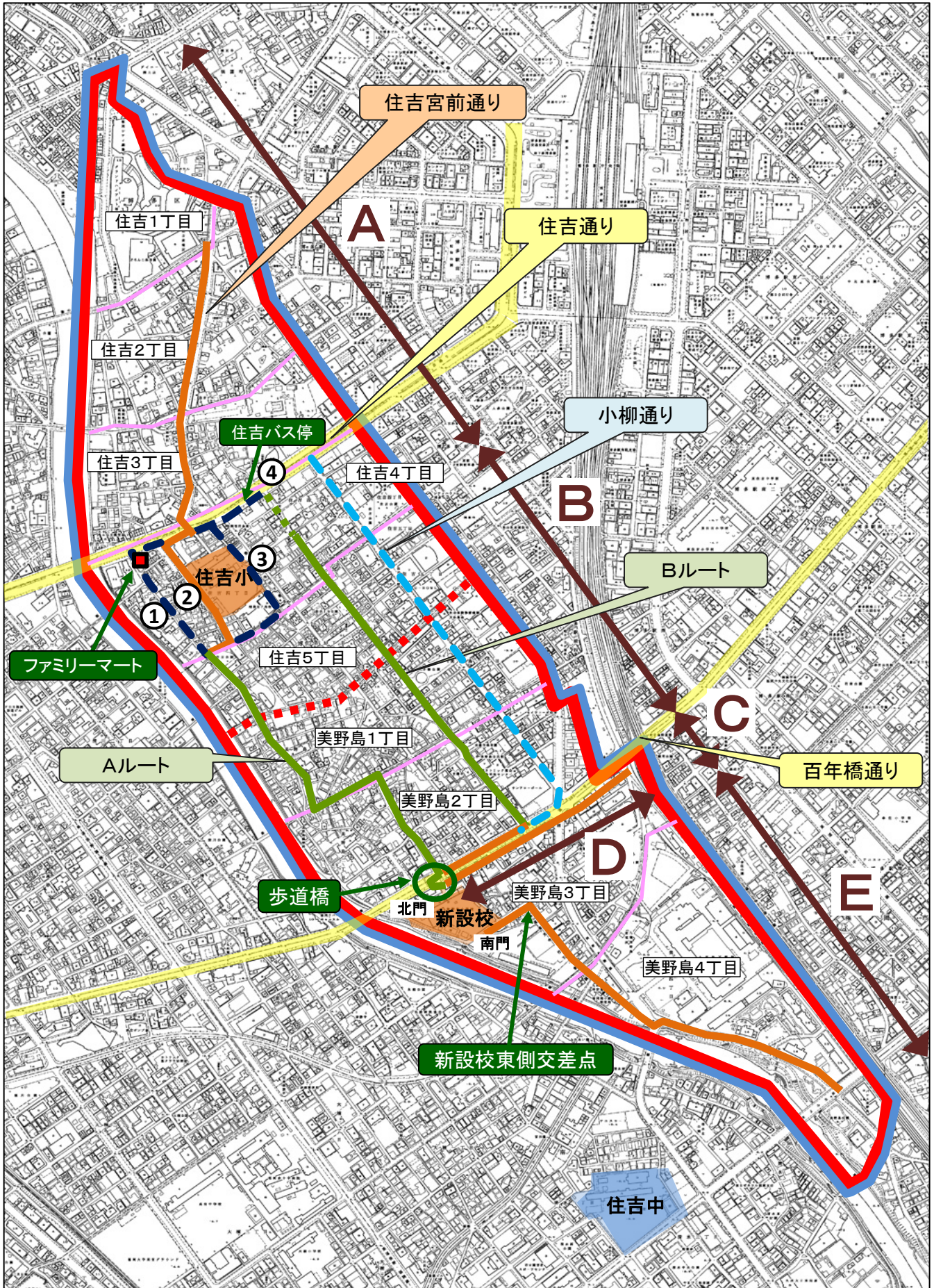
# 新設校開校後の通学路について

## 第8回交通安全部会の振り返り

青文字：前回決定事項 赤文字：本日協議事項

エリア	概要	検討内容	部会の協議結果
A	住吉1～3丁目から住吉通り横断後の通学路	<p>◆住吉通り横断後の通学路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局案：住吉通り横断後、Bルートへ接続（右図④）</li> <li>ルート案①：ファミリーマートの西側を通るルート（右図①）</li> <li>ルート案②：住吉小学校の西門横を通るルート（右図②）</li> <li>ルート案③：住吉小学校の東門横を通るルート（右図③）</li> </ul>	<p>◆住吉通り以北は「住吉宮前通り」を指定し、西側の歩道を通行</p> <p>◆住吉通り横断後は、住吉小学校の西門横を通り、現Aルートに接続（ルート案②：右図②）</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住吉通りとの交差点の見通しがよいこと</li> <li>歩道が一定区間整備済であること</li> <li>住吉小西門から南は現在の通学路であり、子どもたちが通い慣れていること</li> </ul>
B	住吉4丁目から美野島2丁目における通学路	<p>◆Aルート及びBルートに加え、「小柳通り」の追加指定についての検討</p> <p>【検討の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規指定に伴う集団登下校、見守り体制の分散化</li> <li>ミスターマックス開店後の車両通行量や車両の流れの変化を踏まえた安全性</li> </ul>	<p>◆ミスターマックス開店後の車両通行量を調査した上で、小柳通りの通学路指定を再検討</p> <p>◆小柳通りを通学路に指定した場合にミスターマックス横の道路を使用することの是非</p>
C	美野島2丁目から百年橋通りの横断までの通学路	<p>◆百年橋通りの北側歩道を通行し、歩道橋を横断して、北門へ進入</p>	<p>◆検討内容どおりで決定</p>
D	美野島3丁目東部における通学路	<p>◆百年橋通り南側歩道を通行し北門へ進入</p>	<p>◆検討内容どおりで決定</p>
E	美野島3・4丁目における通学路	<p>◆新設校東側交差点までは現行の通学路を使用し、同交差点から左折後、南門へ進入</p>	<p>◆検討内容どおりで決定</p>







## Bエリア(住吉4丁目から美野島2丁目における通学路)

### ○ミスターマックス開店前後における交通量調査結果

- ・調査日：11月29日(金) ※ミスターマックス開店前  
12月20日(金) ※ミスターマックス開店後
- ・調査時間：15:00～18:00
- ・計測地点：美野島公民館東側交差点(右図A)、旧校区境交差点(右図B)

#### ◆小柳通り北上台数

地点	区分	11月29日 開店前	12月20日 開店後	増減数	増減率
矢印1	A交差点への進入台数	330	460	130	39.4%
矢印2	B交差点(旧校区境)への進入台数	370	450	80	21.6%

- ・A交差点への進入台数は開店後に130台増加しており、開店の影響と考えられる。
- ・B交差点への進入台数も、80台の増加となっている。

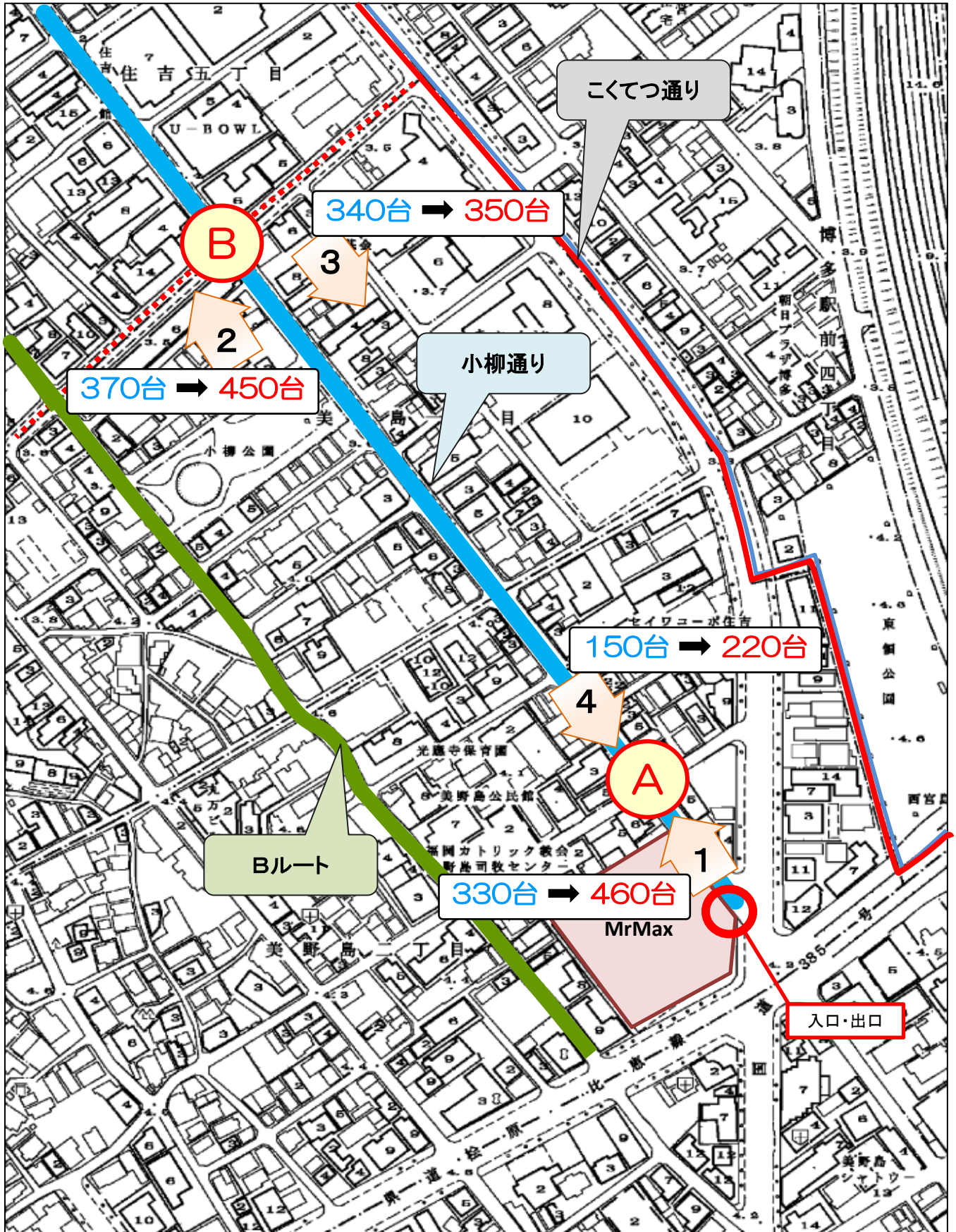
#### ◆小柳通り南下台数

地点	区分	11月29日 開店前	12月20日 開店後	増減数	増減率
矢印3	B交差点(旧校区境)から南下した台数	340	350	10	2.9%
矢印4	A交差点への進入台数	150	220	70	46.7%

- ・B交差点を南下した台数は、開店前後でほぼ変化はない。
- ・A交差点への進入台数は、開店後に70台増加している。  
※ただし、直進方向は進入禁止のため、A交差点進入車両は左右方向に進行。

Bエリア（住吉4丁目から美野島2丁目における通学路）

青数字：ミスターマックス開店前 赤数字：ミスターマックス開店後



## Bエリア(住吉4丁目から美野島2丁目における通学路)

### ○小柳通りを新規に通学路として指定することの検討

#### 第8回交通安全部会における意見

- ◆ミスターマックス開店後の車両通行量を調査した上で、小柳通りの通学路指定を再検討してはどうか。
- ◆小柳通りを通学路に指定した場合に、ミスターマックス横の道路を使用することの是非について検討が必要。

#### 小柳通りの通学路指定における論点

##### ◆集団登下校及び見守り体制の分散化

- 小柳通り沿いにも一定数の児童・生徒が居住しており、居住地から近い道路を通学路として指定できること
- 通学路に指定した場合、登下校集団が分散化し、見守りポイントも分散すること

##### ◆ミスターマックス開店に伴う交通量増による安全性の検証

- 美野島1丁目以北（A地点以北）には歩道が整備されていること
- 沿線に駐車場や車庫が多く、歩道を横切る車両が多いこと
- ミスターマックス開店後、交通量の増加が確認されていること

##### ◆歩道未整備区間の危険性の検証

- ミスターマックス開店後の車両の増加により、歩行者との交錯が懸念されること  
(対応策：A地点からの現Bルートへの接続など)